

2022 年度 FD 活動報告書



洗足学園音楽大学

目次

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録	3
FD 研修会	4
各コースの FD 活動の記録	8
シラバスチェック	19
学修行動調査	23
授業に関するアンケート	24
卒業・修了時満足度調査	26
FD 委員会規程	29
大学院 FD 委員会規程	30
資料 1 : FD 研修会 (チラシ)	31
資料 2 : 学修行動調査結果	32
資料 3 : 授業に関するアンケート結果	45
資料 4 : 卒業時満足度調査結果	54
資料 5 : 修了時満足度調査結果	59

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録

2022 年度の FD 委員会と大学院 FD 委員会は、音楽学部と音楽研究科の一体的な教育改善を図る為、一部の会議を合同で実施した。

【学部第 1 回・大学院第 1 回】 2022 年 5 月 25 日（水） 11 : 00～12 : 00

- 審議事項：①委員会規程の検証
②委員会 PDCA の検証
③年間スケジュール
④2022 年度授業に関するアンケート実施要領
⑤2022 年度 FD 研修会
- 報告事項：①2021 年度授業に関するアンケート結果報告
②2021 年度オンデマンド授業 FD 研修会報告
③学外 FD 情報

【学部第 2 回・大学院第 2 回】第 2 回 2022 年 7 月 21 日（木） 10 : 00～11 : 00

- 審議事項：①2022 年度学修行動調査実施要領
- 報告事項：①2021 年度学修行動調査集計結果報告
②2022 年度開講科目シラバスチェック報告
③学外 FD 情報
- そ の 他：①授業に関するアンケート集計結果について

【学部第 3 回・大学院第 3 回】 2022 年 9 月 29 日（木） 11 : 00～11 : 45

- 報告事項：①2021 年度卒業時（修了時）満足度調査集計結果報告
②2021 年度退学率・休学率
③2022 年度 FD 研修会実施報告
④2021 年度 FD 活動報告書
⑤学外 FD 情報
- 審議事項：①2022 年度卒業時（修了時）満足度調査実施要領
②2022 年度 FD 研修会

【学部第 4 回・大学院第 4 回】 2022 年 12 月 1 日（木） 11 : 00～12 : 00

- 報告事項：①オンデマンド科目「音楽史」の授業デザイン
②学外 FD 情報
- 審議事項：①2022 年度シラバスチェック実施要領
②2022 年度 FD 研修会
- ワークショップ：シラバスチェックをワークショップ形式で実施

FD 研修会

【前期研修期間】2022年6月2日（木）～8月31日（水）

【後期研修期間】2022年10月3日（月）～10月31日（火）

【研修テーマ】文部科学省の「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」（2019～2023年度）において、東北大学を代表校とし、熊本大学、大阪府立大学、立教大学の4大学が連携して実施する取り組み「創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム」において開発した、「大学等における教育FD動画コンテンツ」を視聴することにより、FD研修を実施する。

【講演内容・講師】

- ①大学教育制度論（日本語）：大学の歴史的発展プロセスを振り返り、現代の高等教育を特徴づける3つの変化について学ぶ。その上で、日本で進行する大学教育改革の特徴を考察し、その中で教員が担うべき主体的役割について考える。27分
講師：大森 不二雄（東北大学 教授）、杉本 和弘（東北大学 教授）
- ②インストラクショナルデザイン（日本語）：教育や研修の効果・効率・魅力を高めるための道具である「インストラクショナルデザイン（ID）」の基礎理論や具体的手法について学ぶ。32分
講師：鈴木 克明（熊本大学 教授）
- ③授業設計論（日本語）：学習目標、評価方法、教授方法を統合的にデザインする授業設計の方法を学び、実際に授業内外の学習をいかに設計して学習者に働きかけるかについて考える。27分
講師：平岡 斉士（熊本大学 准教授）、合田 美子（熊本大学 准教授）
- ④学習評価論（日本語）：「学習評価」の枠組み・方法を概観した上で、特に学習成果の多様な評価方法について具体例を通して学ぶ。また、学生を評価の主体として育てていく必要性について考える。27分
講師：松下 佳代（京都大学 教授）
- ⑤学生・学習支援論（日本語）：大学生の抱える心理的・発達的問題を理解するとともに、学生支援や「合理的配慮」に基づく障害学生支援について学ぶ。さらに、学習観が転換しつつある現代に求められる効果的な学習支援のあり方を考える。14分+15分
講師：岡田 有司（東京都立大学 准教授）、佐藤 智子（東北大学 准教授）
- ⑥カリキュラムマネジメント（日本語）：大学におけるカリキュラムの歴史的変遷や現状を踏まえ、教育目的・教育目標を実現するための「カリキュラムマネジメント」の考え方や活用方法について学ぶ。26分
講師：杉谷 祐美子（青山学院大学 教授）
- ⑦大学における倫理（日本語）：知の生産・活用に携わるプロフェッショナルとして、研究上・学習上のアカデミック・インテグリティ（学術的誠実性）を身につけること、大学におけるハラスメントを防止することの大切さについて学ぶ。30分

講師：山内 保典（東北大学 准教授）

- ⑧教育改善論（日本語）：大学に関するあらゆる情報を収集・分析・活用する「インスティテューショナル・リサーチ（IR）」と、学習者の学習活動に関するビッグデータを収集・分析して教育改善等につなげる「ラーニング・アナリティクス（LA）」について学び、組織的な教育改善のあり方について考える。17分+12分

講師：高橋 哲也（大阪公立大学 副学長）、緒方 広明（京都大学 教授）

- ⑨オンライン授業実践論（日本語）：オンライン授業は、対面授業とどう違うのか。オンライン授業やeラーニングに役立つツール・手法を用いた実践事例を紹介しつつ、オンライン授業の実践時に配慮すべき10のポイントについて学ぶ。35分

講師：根岸 千悠（大阪大学 特任助教）、浦田 悠（大阪大学 特任講師）、佐藤 浩章（大阪大学 准教授）、村上 正行（大阪大学 教授）

- ⑩ICT等先端技術活用教育論（日本語）：ICT等の先端技術を教育実践でどのように活用するのかについて、実際に教育現場においてSNSアプリやスマートスピーカーを用いた実践事例を紹介しながら学んでいく。28分

講師：戸田 真志（熊本大学 教授）、松葉 龍一（熊本大学 准教授）、喜多 敏博（熊本大学 教授）、甲斐 晶子（熊本大学 非常勤講師）

- ⑪実務家教員論（日本語）：実務家教員が必要となっている政策的・社会的要因を背景に、実務家教員の役割やその登用メリットについて学ぶ。さらに、先達教員の経験から、実務家教員に求められる心がけや姿勢について考える。16分

講師：松井 利之（大阪公立大学 副学長）、広瀬 正（大阪公立大学 特任教授）

- ⑫大学教育制度論（英語）：大学の歴史的発展プロセスを振り返り、現代の高等教育を特徴づける3つの変化について学ぶ。その上で、日本で進行する大学教育改革の特徴を考察し、その中で教員が担うべき主体的役割について考える。27分

講師：大森 不二雄（東北大学 教授）、杉本 和弘（東北大学 教授）

- ⑬インストラクショナルデザイン（英語）：教育や研修の効果・効率・魅力を高めるための道具である「インストラクショナルデザイン（ID）」の基礎理論や具体的手法について学ぶ。32分

講師：鈴木 克明（熊本大学 教授）

- ⑭授業設計論（英語）：学習目標、評価方法、教授方法を統合的にデザインする授業設計の方法を学び、実際に授業内外の学習をいかに設計して学習者に働きかけるかについて考える。27分

講師：講師：平岡 齊士（熊本大学 准教授）、合田 美子（熊本大学 准教授）

- ⑮学習評価論（英語）：「学習評価」の枠組み・方法を概観した上で、特に学習成果の多様な評価方法について具体例を通して学ぶ。また、学生を評価の主体として育てていく必要性について考える。27分

講師：松下 佳代（京都大学 教授）

※講師の所属先及び職位は、収録時（2020年4月）のものとなります。

【備考】東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターが提供する、専門性開発プログラム（Professional Development Program; PDP）を利用した研修会となる。

【受講者数】

対象者数	受講者数	受講率
69名	35名	50.7%

【受講者アンケートより】

設問 1 今回の研修に参加して、良かったと思いますか。

とても良かった	11人	31.4%
良かった	22人	62.9%
あまり良くなかった	2人	5.7%
良くなかった	0人	0%

設問 2 研修内容について理解することができましたか。

理解できた	24人	68.6%
どちらかといえば理解できた	11人	31.4%
どちらかといえば理解できなかった	0人	0%
理解できなかった	0人	0%

設問 3 今後、取り上げてほしいテーマがありましたら、お書きください。

- ・就活支援に関するもの
- ・大学教員の質向上のための案や考え方
- ・「大学における倫理」も視聴しましたが、大学生との距離の取り方について、難しさを感じています。ハラスメントとも関係が出てくることす。今後も取り上げて頂けたらと思います。
- ・学習支援の具体的な方法
- ・音大に特化した内容
- ・音楽や芸術に関する授業の目標とするものなど、複数の学生が受ける授業の在り方など。
- ・演奏、実習系の実際
- ・大学における発達障害等への支援について
- ・実技授業に対してもの
- ・学生のメンタルヘルス面。メンタル不調学生への対応。

設問 4 ご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・オンラインによる研修は、受講者側の時間的な制約が少なく、有効であると思います。
- ・教育に関わらせていただき、今まで知らなかったことがたくさんあるなと思っている今日この頃です。少しでも学生のためになるよう、教える側も努力をしていこうと思います。
- ・基礎から応用ではなく、応用から基礎へ（パラシュート勉強法）という考え方が、特に参考になりました。音大に應用すると、本番という挑戦する課題を与え、そこに向かって今ある知識や能力を総動員し

て取り組むことで、学生自身が必要な技術について自覚して、また基礎から学ぶ意欲につながると感じました。

- ・選択肢が多く用意されていたのが良い。時間があるときに他の講座も視聴したい。
- ・学生の気付きを最も大切なこととして、教育に取り組む姿勢が大切なのだと再認識しました。
- ・この機会を与えていただいととても嬉しい。
- ・大学授業のカリキュラム編成に於けるこれまでの遍歴や、どのような経緯で進められてきたのかを詳しく知る事が出来、とても参考になりました。
- ・高等教育のあるべき形と、実質的の大学経営との兼ね合いの難しさを、あらためて考えさせられた。

各コースの FD 活動の記録

報告月	コース	活動内容
4月	打楽器	2021年度の演奏会を振り返り、リハーサルの重複について問題があったことを共有し、新年度はコースとしてもこの問題に対処していくことを確認しました。
4月	ジャズ	2022/3/20よりほぼ毎日、3/30,31の新年度履修登録に向けた準備とまだ続く新型コロナ禍での授業対応等について、また予想される様々な問題についてweb会議などで話し合い、対策等を検討しました。
4月	声楽	3月8日(火) 15:00 臨時声楽部門運営会議 3月9日(水) 15:30 みなとみらいホール連携プロジェクト会議
4月	ミュージカル	3月3日(木) 2・4年生担当教員ミーティング実施 4月3日(日) ダンス担当教員ミーティング実施 4月4日(月) タップ担当教員ミーティング実施
4月	音楽教育	① 2月22日(火)にAP、副AP、AAが、2022年度「ピアノ実習」実技試験課題を検討し、更新した。 ② 3月24日(木)にAPと授業担当教員が、専門選択科目「リコーダーアンサンブル」の新年度の授業運営について話し合った。 ③ 4月1日(金)のコース・ガイダンス後に「音楽教育FDミーティング」を開催。AP、副AP、AAが新年度のコース運営、指導体制等について話し合った。
5月	管楽器	2022年度第1回コース部会開催 (4月14日) ・新メンバーの紹介 ・授業バッティングについて、合奏団体専用Googleカレンダーを活用する事を、再度確認した。 ・海外招聘オンラインについて、今年度も基本的にオンラインレッスンを行うことを確認した。
5月	打楽器	履修単位について各々の学生に適した履修がなされるよう、AAを中心に現状報告と意見交換をしました。
5月	ジャズ	2022,4/1, 4/4, 4/5, 4/8, 4/11, 4/18以上の日程でAP/副AP/AAによるwebミーティングを実施いたしました。主な内容は、新入生アドバイジングの確認事項、退学・停学学生の対応について、クラスミーティングの内容について(コロナ感染症対策、アンサンブル関連の話、実技試験日程・レーティングテスト・アンサンブル/ラボ登録のスケジュール周知等)、等です。

5月	声楽	<p>・4/16(土)19:00～Google Meet によるオンラインにて「声楽コース教員全体会議&FD会」出席:27名</p> <p>・4/29(金)12:30～AP・副 AP 会議 カリキュラム改正について</p>
5月	音楽教育	<p>①4月11日(月)に、教職センター長、リコーダー担当教員教員、APが、「教職合奏指導法」の授業内で「改造リコーダー」を紹介することについて話し合った。</p> <p>②5月2日(月)に月例の「音楽教育 FD ミーティング」を開催し、AP、副 AP、AA がコース運営、学生の現況等について話し合った。</p>
6月	打楽器	昨年度、あまり開催できなかったマスタークラス、特別講座について学生からの要望を含め検討しました。アカデミックアドバイザーの教員より、学生たちの様子(出欠含む)について報告がありました。
6月	ジャズ	5/11, 5/12, 5/13, 5/18, 5/19 WEB 会議にて、クラスミーティングの内容の確認、新年度開始後の授業や大学生活における問題点などについて、コロナ禍での授業運営について、その他コースに関わる諸案件について話し合い、確認をしました。
6月	現代邦楽	オンラインを活用しつつ、各学生の状況把握や前期末成果発表演奏会の曲目選定や演奏パート割振り等の連絡や検討を断続的に継続中。事務的な情報共有と FD 活動を兼ねた実用的な運営を行っている。
6月	声楽	5/12(木)16:30～17:30 第1回声楽部門運営会議 e キューブ5階 大会議室
6月	ミュージカル	5/10 2,4年生 SummerSHOWCASE セクションミーティング開催
6月	音楽教育	6月6日(月)に月例の「音楽教育 FD ミーティング」を開催し、AP、副 AP、AA が現在のコース運営を検証し、学生の現況を情報共有して、今後の指導の方向性や改善点について話し合う予定である。
7月	作曲	<p>作曲コース、作曲理論部において、下記の通り勉強会を行います。</p> <p>日程：7月7日と7月11日の昼休みの時間帯</p> <p>標題：無料のソフトウェアによる楽譜制作について</p> <p>講師：久保哲朗先生</p> <p>講座内容：無料の楽譜作成ソフトウェアの現状と、その利用方法について</p>
7月	管楽器	<p>第2回コース部会開催(6月2日)</p> <p>・2022年度学部コンチエルトのタペオーディション及び、前期試験日程の確認を行った。</p> <p>・新歓について、引き続き開催を模索する方向を確認した。</p> <p>・公式 SNS の活用について、担当教員から説明があった。</p>

7月	打楽器	主に合奏系の授業がスムーズに行われるよう問題点を教員で共有し、学生に改善を促しました。
7月	ジャズ	2022/6/8&9 AP&副 AP&AA によるネットワーク会議において学生修学状況の情報共有及び、個別アドバイジングでの確認事項について話し合いました。
7月	現代邦楽	オンラインを活用しつつ、各学生の状況把握や前期末成果発表演奏会の指導などを断続的に継続中。事務的な情報共有とFD活動を兼ねた実用的な運営を行っている。
7月	声楽	7/7(木) 16:30~17:30 第2回声楽部門運営会議 eキューブ5階 大会議室
7月	ミュージカル	7/4 3年生教員による3rdレビュー演出・照明打ち合わせ
7月	音楽教育	6月6日(月)と7月4日(月)に月例の「音楽教育FDミーティング」を開催し、AP、副AP、AAが現在のコース運営を検証し、学生の現況を情報共有して、今後の指導の方向性や改善点について話し合った。これを踏まえ、個別指導が必要な学生に対しては、随時個別連絡や面談を行う。
7月	声優アニメソング	2022年6月7日 業務会議：前期の成果発表に関する事について意見交換をした。 2022年6月14日 業務会議：授業改善に関して、情報共有をした。 2022年6月21日 専任教員会議：コース内ハラスメント防止に関して、授業改善に関する事を詳細に渡り決めた。
7月	ダンス	2022年6月19日(日) コースAP・AA・コース担当教員会議：2021年度公演についての学生からの意見を元に、2022年度公演の進行に関する改善点について検討した。授業進行の改善点や受験生対応等についても意見交換・検討を行った。
7月	ワールドミュージック	4月6日 留学生対応をギター教員と打ち合わせ。留学生のクラシックギター1年生の指導についての話し合いを行う 4月12日 WM概論や担当者と授業打ち合わせ（主に留学生対応） 6月30日 ギター教員と演奏会に向けての指導方法についての打ち合わせ
9月	管楽器	第3回コース部会開催（7月21日） 議題 ・演奏委員会より後期演奏会に係る観客数など、変更点を説明しコース全体で情報共有をした。

		<ul style="list-style-type: none"> ・海外演奏家による、オンライン・マスタークラスの進捗状況が報告された。 ・昼休みのシルバーマウンテン運用について、問題点を話し合った。 ・コロナ禍における研究会の活動についても、教員と相談しながら進めるよう、確認した。
9月	打楽器	前期中における学生の授業への取り組み状況、コース内での活動状況を確認し、後期に向けて改善内容を検討しました。
9月	ジャズ	<p>2022/7/15&26&27&28 AP/副 AP/AA のリモート・ミーティングに於いて、AA 面談で上がった案件（学生生活の問題、授業関連等）について確認、話し合いを行いました。</p> <p>2022/8/24 AP/副 AP/AA のリモート・ミーティングに於いて、次回クラスミーティングについて、学生の個別な案件について確認等の話し合いを行いました。</p>
9月	現代邦楽	後期の運営に向けて、オンラインを活用しつつ、各学生の状況把握や前期末成果発表演奏会の指導などを断続的に継続中。事務的な情報共有とFD活動を兼ねた実用的な運営を行っている。
9月	声楽	8/29(月) 11:00～12:45 C401 企画運営会議
9月	音楽教育	8月27日(土)に音楽教育コース必修科目「音楽教育研究1～IV」の担当教員4名がオンライン会議を行い、前期における授業報告と学生の学習状況についての検証、加えて後期の授業運営について意見交換を行った。
9月	ワールドミュージック	<p>8月4日(木) ワールドミュージック概論担当者5名での成績会議および授業報告を行った。(オンライン会議)</p> <p>各担当者から全学生一人一人についての様子が詳細に報告され、今後の指導方針の共通認識を持つことができた。</p> <p>7月下旬～8月上旬 室内楽研究(WM) 担当者間で、メール会議を行い、冬の演奏会についての学生からの要望等をふまえて、演奏会の企画を再考した。また学生が(室内楽の)授業へ積極的に参加するような体制作り、指導のあり方を確認した。</p>
10月	管楽器	<p>第4回コース部会開催(9月22日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器借用延滞のペナルティについて、音大として柔軟に対応するよう提案された。 ・授業のバッティング問題が再度上がり、あくまでも本来入っている授業が第一優先である事を、再確認した。

10月	打楽器	9月6日コース運営会議。オーケストラの授業で使用する楽器について、実情と学生の希望を担当教員で共有し、対応を検討しました。
10月	ジャズ	2022/9/1&3&5 SNS グループ LINE にて AP/副 AP/AA オンライン会議を行いました。内容は、後期履修取り消し期間についての確認、他学生の諸手続きに関する確認、クラスミーティングの内容についての話し合い、後期全般のコース運営に関する話題等です。
10月	音楽教育	9月12日(月)に月例の音楽教育部会を開催した。AP、副 AP、AA が現在のコース運営を検証し、休学中の学生や留年の学生も含め、音楽教育コース生の現況を情報共有して、今後の指導の方向性や改善点について話し合った。
11月	ピアノ	9月29日：ピアノ部門運営会議開催。ピアノコースの現状について、募集状況、特別クラスの状況、演奏会等イベント状況を含めて、幅広く情報共有をし、活発な意見交換を行った。
11月	弦楽器	4月、6月、9月、11月、1月と部会及び運営委員会を行い、先生方同士の情報共有、また、時々の問題点について協議しています。 今年はず年度の始まる前に、演奏要員のオーディションを行い、少しでも質の高い演奏を学生に提供できるよう準備しました。次に、オープンキャンパスの活性化により、受験生を何とか増やす努力を先生方皆さんで共有していただきました。お陰様で4回のオープンキャンパスは大変好評！総合型入試の受験生も少しずつ増え、手ごたえを感じています。弦楽器コースの先生方の世代交代の時期を迎えるにあたり、30代、40代の講師へのお声がけを始め、新たなエネルギー導入を始めています。
11月	打楽器	授業内で不足している楽器・機材について担当教員で共有し、対応をしました。
11月	ジャズ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022/9/28 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、10月のクラスミーティングについての内容確認を行いました。特に今回はいくつか予定されている特別クリニックに学生へ積極的な参加を促すことについての意味や意義について話し合いました。 ■ 2022/10/30 メンタルケアが必要と思われる学生の状況についての確認を行い、今後も注意して見守っていくということになりました。
11月	声楽	・10/13(木)21:00～学園オペラスタッフ会議（Zoomによるオンライン会議） 洗足学園音楽大学オペラ公演「魔笛」について、演出家、映像担当、舞台監督、制作担当の教員による意見交換を行い、内容の詳細検討を行った。

		・10/14(金)10:00～AAP 会議 クラスミーティングに向けた学生への連絡事項等、対応についての会議を行った。
11月	音楽教育	10月3日(月)に音楽教育部会を開催。AP、副AP、AAがコース運営、学生指導について情報と意見の交換を行った。また、コース備品と教材の保管・整理について、今後の管理・運営の在り方を話し合い、それに基づいた具体的な作業について計画を立てた。
11月	バレエ	2022年10月7日(金) コース担当教員会議 学年末試験の試験問題(アンシエヌマン)の担当者、内容、練習方法について協議する。
12月	声優アニメソング	2022年10月20日(木) コース担当教員会議 今後行われる成果発表に関する意見を聞き、準備について話し合った。 2022年10月31日 コース内会議 来年度のカリキュラムツリー・カリキュラムマップの見直しを行った。
12月	ワールドミュージック	10月17日 WM演奏論、卒業研究バロック担当者と打ち合わせ各学生のレベルを踏まえた上で、後期の授業方針を再検討した。
12月	音楽環境創造	10/28 音楽環境創造コース専門選択授業担当者との意見交換：今年度の授業の状況について報告を頂き、次年度に向けた意見交換が行われた。
12月	作曲	和声学Ⅰにおいて、『学生に簡単な作曲の課題を与え、スマートフォンなどを用いて楽譜を入力させ、PDFを出力させる』ということと来年度から取り入れて行きたい』ということと、以前作曲理論部で提案した。学生に、簡単に楽譜を制作できる時代であることを教えると同時に、創作に興味を持たせるための工夫である。そこで、和声学Ⅰ(主に1年生)と和声学Ⅲ(主に2年生)の清水クラスで試験的に実施し、以下の状況を報告した。 和声学Ⅰは25名(女性20名)のクラスで、2週間後までに作曲した学生は16名、内15名がFlat、1名(男性)がMuseScoreで作曲。16名中、男性は2名。和声学Ⅲは11名中、作曲した学生は3名程。ここから分かるのは・・・ 1) スマートフォンで実施する学生が圧倒的に多い(特に女性はスマートフォン) 2) 女性のほうが実施率が高い(女性は70%、男性は40%が実施) 3) 1年生のほうが実施率が高い(1年生は60%、2年生は27%) 1年生のうちに体験させるのが良いと言える。
12月	ピアノ	11月17日：ピアノ部門運営会議開催。募集状況、来年度の特別クラス、演奏会等イベント予定について、幅広く情報を共有、意見交換を行った。

12月	電子オルガン	電子オルガンアンサンブルについて、指導法について、担当教員で話し合い、今後について方針を決めた。
12月	管楽器	第5回コース部会 2022年11月10日(木) 第5回コース部会にて、 ①必修科目である実技試験の採点方法について上下カットを導入するなど内容を議論し、取り入れる事とした(ただし採点員が5名以上の場合)。 ②専科(オリジナル)と吹奏楽マスタークラスの転科について、学生から転科の要望があり対応を議論した結果、今年度末から転科試験を実施し、条件をクリアのうえ認める事となった。
12月	打楽器	キャリアサポートについて同委員会の資料をもとに再度、認識をしました。来年度の演奏会の日程について授業同士でバッティングが起きないように、またその事態における対応を協議しました。
12月	ジャズ	■2022/11/13 AP&副 AP&AA オンライン会議において、来年度に関する打ち合わせを行いました。 ■2022/11/14 AP&副 AP&AA オンライン会議において、AA個別ミーティングについての打ち合わせを行いました。 ■2022/11/15&18 AP&副 AP&AA オンライン会議において、学生の個別の諸案件について意見交換をし、まとめました。
12月	現代邦楽	学年末実技試験の演奏曲目の選曲、特に大学院の研究演奏・修了演奏のプログラムの選曲についての情報交換やブラッシュアップを、教員間で展開中。近年増加している留学生の演奏曲目には特に留意する必要があるため、慎重に検討を進めている。
12月	声楽	11/15(火)声楽企画運営会議 学年末生学実技試験の演奏順番について、各学年コーラスアンサンブルクラスを最初に設定することになった。
12月	声優アニメソング	2022年11月1日(火) コース教員会議 来年度の授業構成に関して意見交換をした。 2022年11月8日(火) 専任教員会議 転コースの副科履修についての改正に関して、意見交換をし変更をすることを審議した。 2022年11月24日(木) 担当教員会議 学習成果発表に関する準備、企画内容を吟味し、授業にどのように反映させるか協議した。 2022年11月24日(木) 専任教員会議① 現在の学生の状況の把握をし、メンタルケアの必要とその対応について話し合った。 2022年11月25日(金) 専任教員会議② 来年度の授業内容、体制に関して意見交換をし、コース部会に関して話し合った。

12月	音楽環境創造	2022年11月14日(月) 来年度の音楽環境創造コース一部基幹授業に関して、授業内容及び評実施方法についての意見交換を行った。
1月	ピアノ	12月26日：ピアノ部会において、来年度の運営、演奏会・イベント内容について報告をし、情報共有と検討を行った。
1月	弦楽器	運営委員会でオーケストラ、弦楽合奏、室内楽、レッスンの状況を毎回報告、問題点を協議します。特に今年は後期から留学生が増えたため、特別指導が必要でした。また、合奏授業や室内楽では、コロナ陽性者の扱いを相談、デリケートに配慮していただき、学生たちは安心して授業や試験を受けることができました。新任教員を選定するにあたり、どのような方にご指導していただいたら良いかを審議することを通じ、洗足での教育の現場に必要な重要な心構えや、パーソナリティーを改めて先生方と共有しました。
1月	打楽器	学生が興味を持つ音楽シーンについてリサーチをし、その内容に沿った特別講座を準備しました。合奏授業において学生間で起きたトラブルについて教員で内容を確認し、該当学生と面談を行いました。
1月	ジャズ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022/12/2 AP&副 AP&AA オンライン会議において来年度4月のオリエンテーションについての打ち合わせを行いました。 ■ 2022/12/6 AP&副 AP&AA オンライン会議において停電による臨時休校についての対応等を協議しました。 ■ 2022/12/14 AP&副 AP&AA オンライン会議において選抜アンサンブル「A/Bバンド」についてのオーディションの状況等についての確認を行いました。
1月	音楽教育	● 11月27日(土)にAPと授業担当教員がオンラインにて、3年次必修科目「音楽教育研究Ⅲ」の実習課題である卒業論文研究計画の全履修生の内容と進捗について、確認と検討を行った。
1月	バレエ	2022年12月23日(金) コース担当教員会議：1月に実施予定の学年末試験・卒業試験について内容及び評価方法についての確認・検討を行った。AP、AAで随時相談し、本公演、試験前の学生対応に対処。また、カリキュラム関連ツール「到達目標」の推薦基礎科目を見直し、新しい履修モデルを作成し、加えた。
1月	声優アニメソング	<p>2022年12月1日(木) コース担当教員会議：1年生公演に関する共有事項を聞き取りし、その対応策等を協議した。</p> <p>2022年12月19日(月) 専任教員会議：転コース希望学生の面談に関し、スケジュールの設定等、今後の学生の動きに関して相談をした。</p>

1月	ダンス	2022年12月11日(日) 27日(火) コース専任会議・コースAA会議：2023年度カリキュラムにおいて科目の追加があった為、2023年度版のカリキュラムマップ・カリキュラムツリーの検討・修正を行った。
1月	ワールドミュージック	2022年8月4日 WM概論成績会議および学生の授業参加姿勢に関する報告、後期の授業方針についての意見交換 2022年9月中旬 在籍学生の学修に関するヒアリング（個人面談） 2022年10月29日 WM実技担当者とレッスン方法について打ち合わせ 2022年11月8日 学生と演奏会ACを交えて演奏会の詳細、室内楽の授業への参加姿勢等の意見交換 2022年11月28日 WM演奏論担当教員と授業内容の検証 2022年11月25日、12月16日 特別レッスンを踏まえて、担当教員と学生の学修方法の検討 2023年1月6日 WM概論、演奏論担当者会議 2023年度シラバス作成について打ち合わせ
1月	音楽環境創造	2023年1月16日（月）音楽環境創造コースの年度末実技試験における採点方法などを、対面及びオンデマンドにて最終確認する予定。
2月	ピアノ	1月23日：ピアノ部会において、来年度の運営、イベント企画、各種オーディション日程について情報共有をし、内容の検討と確認を行った。
2月	管楽器	2023年1月19日第6回コース会議にて、管楽器コース内でのオリジナル（専科）と吹奏楽マスタークラス間の移動（他コースからの移動も同様）の転科試験を受ける為の条件と試験内容を確認し、部会として承認された。
2月	弦楽器	1月19日の弦楽器コース運営委員会では、新年度のカリキュラムについての協議が行われました。後期の実技試験も無事終わり、授業にサポートの必要な学生についても先生方と確認をして情報共有をしました。新年度は先生方のご尽力のお陰で、弦楽器コースの学生も10人を超す予定。気持ちを引き締めて新年度を迎える準備をすることで確認しました。
2月	打楽器	学内外での学生の活動について、教員で現状の共有とその対応について協議しました。複数教員で行う授業において、来年度に向け授業内容やシラバスの見直しを行いました。

2月	ジャズ	■ 2023/1/23 AP&副 AP&AA によるオンライン会議を実施。来年度からスタートする JAM コースの新カリキュラムについての打ち合わせ、勉強会の日程の調整等を行いました。
2月	声楽	1/12(木)16:30 声楽部門運営会議 後期定例報告、新年度について
2月	バレエ	AP/AA 教員会議 1月11日(水) 成績評価・採点基準について意見交換、内容の検討をする。 1月26日(木) 次年度の時間割の確認。次年度オリエンテーション期間中のガイダンス内容(在学生履修アドバイジング、新1年生履修アドバイジング)について検討を行った。ハラスメント防止研修会の報告があり、「心に響くコミュニケーション ペップトーク」の資料を教員間において共有した。
2月	声優アニメソング	2023年1月10日 専任教員会議 学年末試験の評価について新採点方式を運用するための準備会議をした。 2023年1月19日 コース教員会議 年度末に向けて、コース内にて部会を開催した。(オンラインと対面のハイブリッド) 学生の情報共有、今年度の学生評価等、現在の確認。そして今後の学生指導に関して協議した。
2月	ワールドミュージック	2023年1月30日 WM 演奏論、卒業研究担当者会議 担当教員5名による会議。教員から学生の受講状況、学修成果の報告がなされ、各学生の音楽的志向を踏まえての評価の検討が行われた。また、今後の授業運営への一助として、担当教員間で各ジャンルの音楽への一層の理解を深める情報交換の機会を設けることが提案された。
2月	音楽環境創造	1/13(金) 新年度の AA 体制について、新たに2名の AA が参加すること AA 個別に確認。学生の割り振り方法などの意見を頂いた。次回は、新年度のコースルールなど、新体制について確認する予定。
2月	ピアノ	2月8日: ピアノ部会において、来年度の授業、オーディションについて討議を行い、内容の検討と確認を行った。 2月16日: ピアノ部会において、今年度の特別クラス発表会、来年度のオーディション実施計画について、幅広く情報共有と意見交換を行った。
2月	弦楽器	3月には新年度に向け、新体制の弦楽器コースのためのミーティングを行います。オーケストラ、室内楽は前年度の問題点を確認、マスタークラスの時期を学生の授業や演奏会とのバランスを考え配置、昨年引き続きオープンキャンパスの予定を確認、バロック講座、ジャズ

		ヴァイオリン講座、などの新特別講座について確認、学習障害的な学生の対処の方法についてなど、を話し合います。
3月	打楽器	新年度に向けての進級の現状と新卒業生の進路について該当教員にて情報を共有しました。
3月	ジャズ	<p>■ 2023/2/2 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、来年度のアドバイジングの基本的な進め方等について確認しました。</p> <p>■ 2023/2/16 AA 会議を開催いたしました。内容は新しくなる来年度カリキュラムについて、履修に関すること等についてです。</p>
3月	現代邦楽	新年度に向けて、コース内共通認識の更新や FD 活動として、オンライン部会を3月中に実施する予定。
3月	声楽	2/22(水)15:00 音大オケフェスティバル オンライン会議 演奏支援センター長、各音大担当教員 2024年3月30日(土)東京芸術劇場・31日(日)川崎ミュージア ラヴェル作曲「ダフニスとクロエ」合唱団の選出について ソプラノ、アルト、テノール、バリトンの各2名ずつを選出する。
3月	ミュージカル	2022年2月21日(火)新任教員を中心に専任教員よりカリキュラム、学生とのかかわり方など提示し、新任教員らの教育理念など意見を交わした。
3月	声優アニメソング	<p>2023年2月11日 専任教員会議 来年度の入試の課題について、留学生への課題も併せて意見交換をした。</p> <p>2023年2月15日 コース担当教員会議 来年度の授業の取り組み、授業の課題についての打ち合わせをした。</p>
3月	ダンス	2023年2月16日(木) コース AP AA 会議：2023年度新任 AA も参加。2022年度の反省点・改善点を踏まえ、2023年度の履修登録や学生の生活指導、学生対応の方針等を検討し、意見交換を行った。
3月	音楽環境創造	2/16(木) 来年度音楽環境創造コースを担当する AA による会議が実施された。来年度のカリキュラムの確認及び履修登録について打ち合わせが行われた。

(教授会定例報告で報告された事項のみ記載)

(会議・研修等における参加者氏名は削除している)

シラバスチェック

1. 目的

FD 活動の一環として、シラバスの記載内容を確認し、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・大学院の 2023 年度全開講科目（講義・レッスン）の全てを対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. シラバスチェック担当者

- ・大学院 FD 委員会委員、FD 委員会委員（授業担当者以外の第三者）

4. 実施の流れ

月日	項目
2/2（木）	担当シラバス配布（2月教授会にて）
2/2（木）～2/16（木）	シラバスチェック
2/16（木）	チェックシート提出期限（スプレッドシート入力）
～シラバス公開日	シラバス変更期間※授業方針に変更があった場合
～シラバス公開日	科目担当者への修正依頼（事務局→科目担当者）
3/1（水）～3/31（金）	集計・分析
未定	結果報告（2023年度FD委員会）

5. チェック項目（別紙）

6. チェック表の提出（スプレッドシート入力）、朱入りシラバス原稿の提出

- ・提出先：FD 委員会事務局（daigaku_fd@senzoku.ac.jp）
- ・提出締切日：2023年2月16日（木）

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会）は、授業改善のための資料として集計結果を活用するものとします。
- ・チェック内容の結果は、必要に応じて、担当教員に提示します。
- ・チェック内容の赤字項目（重点項目）の結果は、授業担当教員に提示し、「シラバス改善報告書」を提出の上 2023 年度授業開始前までに内容を修正していただきます。

《チェック内容》

項目	点検内容
到達目標	① 学習の到達目標が具体的に示されているか。
	② 学習の到達目標が現実的なものであるか。
	③ 学習の到達目標が測定可能なものであるか。
	④ 学生を主体として、わかりやすく書かれているか。
授業時間外の学習(予習・復習)	① 授業時間外学習の内容や方法が示されているか。
	② 授業時間外学習に必要な時間の目安は示されているか。
成績評価の方法 および基準	① 授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。
	② 評価基準は明示されているか。
	③ 「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。 授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。
テキスト・ 参考文献	① 「テキスト・教科書」と「参考文献（参考資料・参考書）」のどちらかは具体的に明示されているか。
授業計画	① 授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。
	② 半期 15 回分（または通年 30 回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。
	③ 「試験」を授業回数に含んでいないか。「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。
評価結果	特に改善が必要と思われるものに関しては、改善を依頼するコメントを記入してください。特に、修正を要するコメントの付いたものは、事務局より、個別に担当教員に連絡いたします。

2022 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項（集計）

2023年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項（集計）				2021	2022	2023	修正後
項目	NO	点検内容	主な指摘事項	2021	2022	2023	修正後
到達目標	①	学習の到達目標が具体的に示されているか。	・具体的な記述が必要	52	44	28	
	②	学習の到達目標が現実的なものであるか。	・わかりやすい表現の為に工夫が必要				
	③	学習の到達目標が測定可能なものであるか。					
	④	学生を主体としてわかりやすく書かれているか。					
授業概要	①	初学者にとってわかりやすく、具体的な記述がなされているか	・具体的な記述が必要	3	0	0	
授業時間外の学習	①	授業外学習の内容や方法が示されているか。	・具体的な方法、指針の記述が必要 ・具体的な予習復習の方法を提示する	144	193	324	
成績評価の方法及び基準	①	授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。	・それぞれの評価方法が全体の何%なのかを示す	137	39	71	
	②	評価基準は明示されているか。	・「平常点」と「授業への参加姿勢・授業態度」の違いが不明		28	60	
	③	「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしないか。授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。	・出席により評価されるような記載は認められない ・「出席点、出席状況」といった出席に関する内容は記載しない	15	10	4	→0件
授業計画	①	授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。	・相互の関連性が必要 ・記述内容を明確にすること	53	20	9	
	②	半期15回分（または通年30回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。	・同様のテーマを取り扱う場合であっても、数字のみで区別するのではなく、回数ごとに扱うテーマのキーワードを記載し、各回の学習内容の違いを明確にする（数字での区別・後期での内容省略）	36	11	29	→0件
	③	「試験」を授業回数に含んでいないか。	・「試験」が回数に含まれている	1	11	6	→0件
		「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。					
テキスト・参考文献	①	「テキスト・教科書」と「参考資料（参考文献）」の両方が「なし」は認められません。（文部科学省からの新規通達、2017年度より）	・テキスト・教科書・参考文献に関しては、いずれかの項目に資料名を記載する	133	170	152	
履修条件			・記述表現への指摘 等	11			
			合計	585	526	683	

2023 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項

【1】今回の結果について

1. シラバスチェックの結果、683 件の指摘があり、前年度より 157 件増加した。チェック者数を増やしたことで、一人あたりの担当シラバス数を 15 科目ほど減らすことができ、より丁寧なチェックが可能となった。
2. 重点項目における指摘件数では、「成績評価の方法及び基準」欄において、それぞれの評価方法の割合が示されていないという指摘が増え 71 件（前年度比 + 32 件）となった。
3. 指摘が最も増加したのは、『授業時間外の学習』欄において、具体的な予習復習の時間が提示されていないという項目で前年度より 131 件増加し、324 件となった。
4. 重点項目における指摘の計 110 件については、科目担当教員に個別にフィードバックを行い、「シラバス改善報告書」の提出を依頼した。
5. 「授業で使用するテキスト・参考文献」欄においても「特になし」の記載が多かったが、指摘だけでなく、「副読本など参考文献として紹介しておく」とよい等のアドバイスを追記して対応した。

【2】今後の課題等について

1. 2023 年 3 月 31 日付、大学基準協会からの『大学評価（認証評価）結果』において、シラバスの「授業計画」の記載内容に精粗が見られ、一部に極めて簡略化された記載があることについて指摘があった。これを受け、内部質保証推進委員会より、本委員会に対して見直しを行うよう指示が出された。各回の学習内容の違いを明確にし、学生の学修に役立つシラバスになるようさらなる充実を図りたい。
2. 2020 年度シラバスチェック報告での課題となっていた「シラバスチェック者の基準のバラツキ」については、ワークショップで取り上げた項目について指摘件数が増加傾向にあり、基準の統一という点で一定の効果がある。引き続き、取り組んでいきたい。
3. 「授業時間外の学習（予習復習について）」欄において、具体的な方法や目安となる時間が明示されていないとの指摘が一番多くあった。今回初めて指摘を受けた担当教員も多く、どのくらいの時間にしたら良いかという相談が目立った。単位数別に具体的な時間数（目安）を記載することで、単位実質化の考え方と予習復習の重要性も再認識できるのではないかな。

例) 半期科目・90 分授業の場合

単位数	学修時間合計	授業時間			予習・復習時間	1 週間あたり（目安）
		30 時間	2 時間（≒90 分）	15 回		
1 単位	45 時間	30 時間	2 時間（≒90 分）	15 回	15 時間	1 時間
2 単位	90 時間	30 時間	2 時間（≒90 分）	15 回	60 時間	4 時間

4. 授業計画においては、「キーワード（応用、基礎など）」での区別にとどまらず、良い例を積極的に共有し、シラバス執筆者がより高度な視点での改善が図れるよう働きかける

学修行動調査

1. 目的

FD 活動の一環として、学生の学修時間の実態や学修行動・学修経験を把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・学部・大学院の全学生（正規生）を対象とします。
- ・科目等履修生・聴講生（非正規生）は対象外とします。

3. 実施の流れ

時期	項目
11/1（月）～11/21（日）	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）
	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）延長
12/1（水）～3/18（金）	実施結果の閲覧（SENZOKU ポータル）

4. アンケートの質問内容と回答（別紙）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
学年別集計	学年別による集計
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・学年別集計及び全体集計は、SENZOKU ポータルを通じて、学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、教務委員会、IR 委員会等）は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

授業に関するアンケート

1. 目的

FD 活動の一環として、学生からの授業に対する意見・感想を聞き、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・大学院の全開講科目（講義・レッスン）を対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. 実施の流れ

前期科目	後期科目・通年科目	項目
2022/7/1（金） ～7/30（土）	2022/12/1（木） ～2023/2/17（金）	アンケートの実施 （SENZOKU ポータル）
2022/8/10（水） ～2023/3/31（金）	2023/3/4（土） ～7/31（月）	実施結果の閲覧 （SENZOKU ポータル）
2022年10月	2023年6月	大学ホームページへの掲載

4. アンケートの質問内容（別紙）

5. 集計

- ・以下の2種類の集計を実施します。

種類	内容
担当科目集計	各担当科目別の個々の教員データの集計
科目分類集計	講義、レッスン、必修科目、専門選択科目（各コース）、専門選択科目（共通）、一般総合科目、オンデマンド科目の7分類による集計

6. 結果の提示及び公表

- ・担当科目集計及びアンケート結果は、SENZOKU ポータルを通じて、担当教員及び受講者に提示します。
- ・講義、レッスンの集計結果については、大学のホームページで公表します。

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、カリキュラム委員会等）は、授業改善のための資料としてアンケート結果を活用するものとします。

No	設問文（講義）
1	この授業に何回出席しましたか。
2	この授業のために1週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。
4	シラバス（主題と目標、授業計画）に沿って授業が行われましたか。
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか。
7	板書や視聴覚教材の利用、資料の提示方法は適切でしたか。
8	授業に集中できるよう配慮をしていましたか。（私語の防止、遅刻への対応）
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか。
10	この授業を受講して有意義でしたか。
11	この授業の開始・終了時刻は守られていましたか。
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか。
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか。
14	この授業を総合的に評価して満足していますか。
15	この授業でよかった点を入力してください。（自由記述）
16	この授業で改善してほしい点を入力してください。（自由記述）
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください。 ・スマートフォン ・タブレット ・パソコン ・その他
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか。
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか

No	設問文（レッスン）
1	このレッスンに何回出席しましたか。
2	このレッスンのために1週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか。
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか。
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか。
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか。
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか。
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか。
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか。
12	このレッスンでよかった点を入力してください。（自由記述）
13	このレッスンで改善してほしい点を入力してください。（自由記述）

卒業・修了時満足度調査

1. 目的

FD 活動の一環として、卒業予定者を対象に学修成果を確認し、且つ、大学の提供した教育及び学生生活支援に対する総合的な意見・感想を聴取することにより、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・正規生の学部 4 年生、大学院 2 年生を対象とします。
- ・非正規生の科目等履修生・聴講生は対象外とします。

3. 実施の流れ

前期	項目
1/12 (水) ~ 3/11 (金)	アンケートの実施 (SENZOKU ポータル)
4/4 (月) ~ 5/13 (金)	実施結果の閲覧 (デジタルサイネージ)

4. アンケートの質問内容 (別紙)

5. 集計

- ・以下の集計を実施します。

種類	内容
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・集計結果は、デジタルサイネージを通じて、在学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織 (大学院 FD 委員会、FD 委員会、IR 委員会、教務委員会等) は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

《質問内容・学部》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したものが、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。	
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。	
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
10	（専門性、専門実技）自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができるようになった。	
11	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができるようになった。	
12	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった。	
13	（社会貢献・実践的態度）自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた。	
14	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった。	
15	洗足学園音楽大学を卒業して良かった。	
16	自らが所属したコースで学んだ意義があった。	
17	洗足学園音楽大学を卒業したことを誇らしく思っている。	
18	洗足学園音楽大学に愛着を持っている。	
19	洗足学園音楽大学に対する総合的な満足度（10点法）	
20	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）	

《質問内容・大学院》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したのか、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。	
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。	
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
10	（専門性、専門実技）自らの専門分野の高度で専門的な知識・技能あるいは研究能力を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。	
11	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。	
12	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。	
13	（社会貢献・国際貢献・実践的態度）国際社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。	
14	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。	
15	（プロフェッショナル）社会における自らの専門分野の意義と役割を理解し、専門家として主体的で創造的な研究活動を継続することができる。	
16	洗足学園音楽大学大学院を修了して良かった。	
17	自らが所属した専攻・コースで学んだ意義があった。	
18	洗足学園音楽大学大学院を修了できることを誇らしく思っている。	
19	洗足学園音楽大学大学院に愛着を持っている。	
20	洗足学園音楽大学大学院に対する総合的な満足度（10点法）	
21	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）	

FD 委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学教授会規程第9条第1項の規定に基づき、FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

（組織）

第2条 FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- （1）学部長
- （2）学長の指名した教職員

（会議）

第3条 FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

（会議成立の要件）

第4条 FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

（審議事項等）

第5条 FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- （1）FD活動の企画立案
- （2）FD活動の実施計画の立案
- （3）FD活動の評価
- （4）FD活動に関する情報の収集と提供
- （5）その他学長の諮問する事項

- 2 FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

（議決）

第6条 FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

（議事録）

第7条 FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

（事務の所管）

第8条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

（規程の改廃）

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

大学院 FD 委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学大学院教授会規程第9条第1項の規定に基づき、大学院FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

(組織)

第2条 大学院FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- (1) 研究科長
- (2) 学長の指名した教職員

(会議)

第3条 大学院FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、大学院FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 大学院FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、大学院FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

(会議成立の要件)

第4条 大学院FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項等)

第5条 大学院FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- (1) FD活動の企画立案
- (2) FD活動の実施計画の立案
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他学長の諮問する事項

- 2 大学院FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

(議決)

第6条 大学院FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第7条 大学院FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

資料1：FD研修会（チラシ）

洗足学園音楽大学

2022年度

FD研修会(オンライン)

【研修期間】

前期 2022年6月2日(木)～6月30日(木)

後期 2022年10月3日(月)～10月31日(月)

【研修参加方法】

(1) 下記講演テーマ①～⑮の中から、任意の1講演を視聴してください。

(2) 視聴後、洗足アカウントから以下のアンケートに回答してください。アンケートの回答を以て、研修参加者としてカウントします。

<https://forms.gle/Kh7YYkeZ1h3wF8K77>

【コンテンツを利用するためには】

利用につきましては、「ログイン情報発行用フォーム」で、所属(洗足学園音楽大学)、氏名、及びメールアドレス(XXXX@senzoku.ac.jp)を提出されるとアカウントが発行されます。

「ログイン情報発行用フォーム」 <https://forms.gle/VgGm4zoucir2zbkV9>

注意:

(1) アカウント情報は提出したメールアドレスに送信されます。ドメイン(@アットマーク以降)が、@senzoku.ac.jpのメールアドレスを使用してください。プライベートメールには発行されません。

(2) 各コンテンツには配布スライドを添えております。また、簡単なアンケートも添えておりますので、ご協力をお願いいたします。

【講演テーマ】

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ① 大学教育制度論(日本語) 27分 | ⑨ オンライン授業実践論(日本語) 35分 |
| ② インストラクショナルデザイン(日本語) 32分 | ⑩ ICT等先端技術活用教育論(日本語) 28分 |
| ③ 授業設計論(日本語) 27分 | ⑪ 実務家教員論(日本語) 16分 |
| ④ 学習評価論(日本語) 27分 | ⑫ 大学教育制度論(英語) |
| ⑤ 学生・学習支援論(日本語) 14分+15分 | ⑬ インストラクショナルデザイン(英語) |
| ⑥ カリキュラムマネジメント(日本語) 26分 | ⑭ 授業設計論(英語) |
| ⑦ 大学における倫理(日本語) 30分 | ⑮ 学習評価論(英語) |
| ⑧ 教育改善論(日本語) 17分+12分 | |

【備考】文部科学省の「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」(2019～2023年度)において、東北大学を代表校とし、熊本大学、大阪府立大学、立教大学の4大学が連携して実施する取り組み「創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム」において開発した、「大学等における教育FD動画コンテンツ」を利用しての研修会となります。

FD委員会・大学院FD委員会

資料2：学修行動調査結果

2022年度 学修行動調査

洗足学園音楽大学・大学院
FD委員会/大学院FD委員会

1

<1> 調査概要

【調査目的】学生の学修時間の実態や学修行動・学修経験を把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる

【実施方法】SENZOKUポータル・アンケート機能にて

【対象】音楽学部、音楽研究科（全専攻、全コース、全学年）

【実施時期】2022年11月1日～12月18日

【所要時間】10分弱

【質問数】90問（学部1年・専攻科・大学院1年は72問）

【調査項目】通学日数 / 学習時間 / 学習以外の時間の過ごし方 / 課外活動の実施状況 / 授業の出席率 / 大学教育の選好 / 授業への取り組み / 学修成果 / 大学満足度

【比較対象】

ベネッセ総合教育研究所「第3回大学生の学習・生活実態調査報告書」（2016年実施/2018年調査結果公表）

東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター「大学教育についての職業人調査」（2009年）

<2-1> 調査の背景

- ◆ 私学事業団「一般補助・教育の質に係る客観的指標調査」(経常費補助金)への対応
- (設問) **学生の学修時間の実態及び学修行動の把握を組織的に行う**とともに、その結果を授業等教育活動の見直しに活用していますか。
- (要件) 学生の学修時間の実態及び学修行動の把握のための手法として、アンケート調査等が考えられるが、**学修時間の実態を定量的に把握し集計・分析**していること。
- (設問) 学生本人の**学修成果の把握**や学修等の動機付けのために、単位認定、学位授与、卒業判定等とは別に、以下のア～エのいずれかの手法を用いて**学修成果の把握を行い、学生へのフィードバック**及びその結果を授業等教育活動の見直しに活用していますか。
 - ア 外部の標準化されたテスト等による学修成果の調査・測定(アセスメント・テスト)
 - イ **学生の学修成果を把握するためのアンケート調査等**
 - ウ 学修評価の観点・基準を定めたルーブリックの活用
 - エ 学修ポートフォリオの活用
- (要件) 学修成果の把握とは、成績推移等から教育成果を把握することを目的として、学修前と学修後の双方の時点において、実施すること。また、アンケート調査は学生個人に着目して行われることが必要。この場合、調査対象は学生全員、かつ記名式のもの前提とする。

3

<2-2> 調査の背景

- ◆ 学修成果の可視化(評価指標の例) →調査結果の公表が求められている

	入学前・入学直後	在学中	卒業時・卒業後
大学 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・学生調査 ・調査書等の記載内容 ・入学時調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・休学率 ・退学率 ・学生調査 ・満足度調査 ・学修行動調査 ・課外活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業率 ・就職率 ・進学率 ・学位授与数 ・アンケート調査
学部 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・入学時調査 ・面接、志望理由等 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・進級率 ・休学率 ・退学率 ・修得単位数 ・満足度調査 ・学修行動調査 ・課外活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・国家試験合格率 ・単位修得状況 ・卒業時満足度調査 ・アンケート調査 ・就職率 ・学位授与数 ・就職先の卒業生評価
科目 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・プレースメントテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価 ・学修ポートフォリオ 	

4

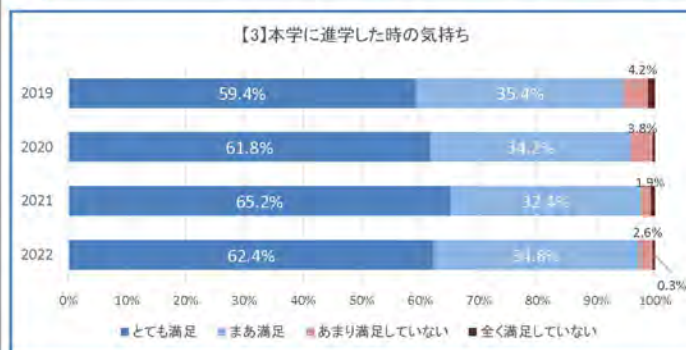
<3> 回答率

	在学学生数	回答者数	2022 回答率	2021 回答率	2020 回答率	2019 回答率
1年生	636人	391人	61.5%	59.4%	76.9%	66.8%
2年生	599人	212人	35.4%	49.2%	49.3%	47.1%
3年生	547人	155人	28.3%	37.5%	39.8%	40.5%
4年生	533人	123人	23.1%	34.5%	36.4%	33.2%
学部合計	2315人	881人	38.1%	45.9%	51.6%	47.8%

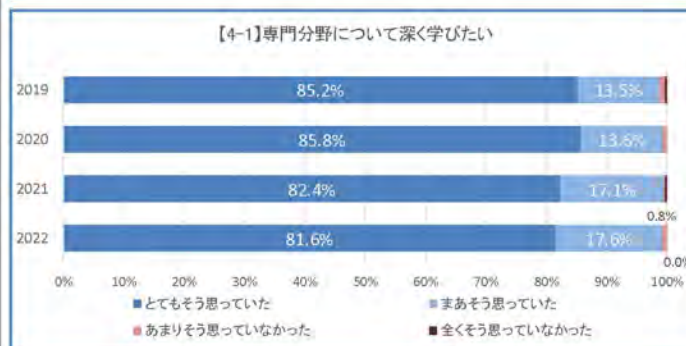
	在学学生数	回答者数	2022 回答率	2021 回答率	2020 回答率	2019 回答率
院1年生	90人	63人	70.0%	44.6%	72.2%	70.1%
院2年生	84人	49人	58.3%	68.5%	67.7%	72.5%
院合計	174人	112人	64.4%	55.8%	71.9%	71.3%

5

<4-1> 分析① 新入生(学部)の傾向



	2022	2021	2020	2019
とても	62.4%	65.2%	61.8%	59.4%
まあ	34.8%	32.4%	34.2%	35.4%
あまり	2.6%	1.9%	3.8%	4.2%
全く	0.3%	0.5%	0.2%	1.0%

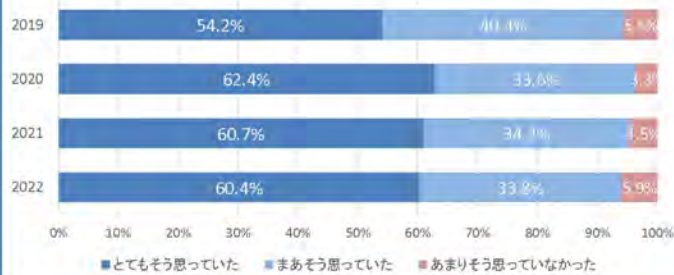


	2022	2021	2020	2019
とても	81.6%	82.4%	85.8%	85.2%
まあ	17.6%	17.1%	13.6%	13.5%
あまり	0.8%	0.3%	0.7%	1.0%
全く	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%

6

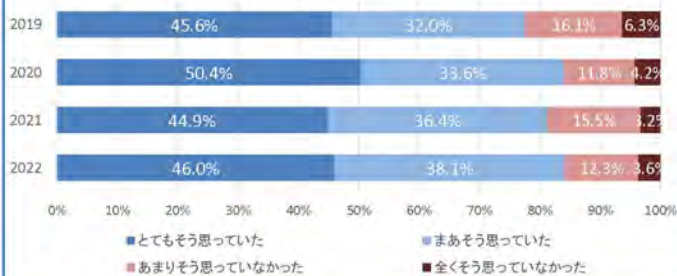
<4-1> 分析① 新入生(学部)の傾向

【4-2】幅広い知識や教養を身につけたい



	2022	2021	2020	2019
ととも	60.4%	60.7%	62.4%	54.2%
まあ	33.8%	34.2%	33.6%	40.4%
あまり	5.9%	4.5%	3.3%	5.5%
全く	0.0%	0.5%	0.7%	0.5%

【4-3】就職につながる学習や資格取得、活動をしたい

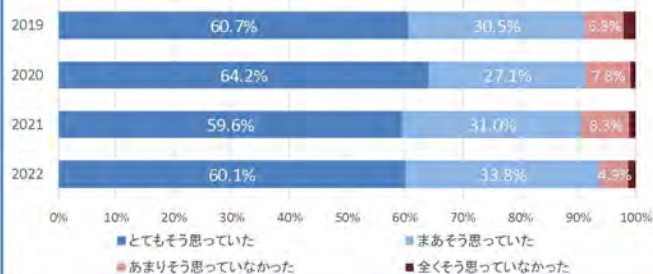


	2022	2021	2020	2019
ととも	46.0%	44.9%	50.4%	45.6%
まあ	38.1%	36.4%	33.6%	32.0%
あまり	12.3%	15.5%	11.8%	16.1%
全く	3.6%	3.2%	4.2%	6.3%

7

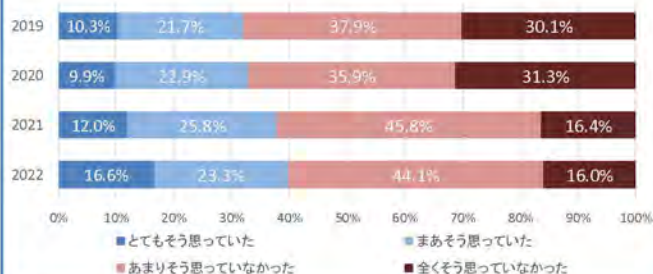
<4-1> 分析① 新入生(学部)の傾向

【4-4】友人をつくりよい人間関係を広げたい



	2022	2021	2020	2019
ととも	60.1%	59.6%	64.2%	60.7%
まあ	33.8%	31.0%	27.1%	30.5%
あまり	4.9%	8.3%	7.8%	6.8%
全く	1.3%	1.1%	0.9%	2.1%

【4-5】クラブ、サークルなどの課外活動に力を入れたい



	2022	2021	2020	2019
ととも	16.6%	12.0%	9.9%	10.3%
まあ	23.3%	25.8%	22.9%	21.7%
あまり	44.1%	45.8%	35.9%	37.9%
全く	16.0%	16.4%	31.3%	30.1%

8

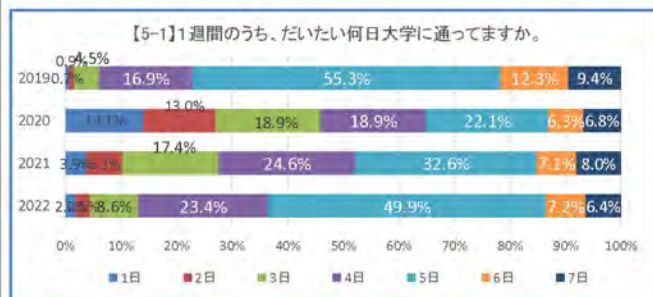
<4-1> 分析① 新入生(学部)の傾向

1. 「本学に進学した時の気持ち(とても満足)」が2019年から2022年にかけて3ポイント増加。
2. 「専門分野について深く学びたい(とてもそう思っていた)」は2019年から2022年にかけて3.6ポイント減少。
3. 「幅広い知識や教養を身につけたい(とてもそう思っていた)」は2019年から2022年にかけて6.2ポイント増加。
4. 「就職につながる学習や資格取得、活動をしたい(とてもそう思っていた)」は2019年から2022年にかけて0.4ポイント増加。
5. 「友人をつくりよい人間関係を広げたい(とてもそう思っていた)」は2019年から2022年にかけて0.6ポイント減少。
6. 「クラブ、サークルなどの課外活動に力を入れたい(とてもそう思っていた)」は2019年から2022年にかけて6.3ポイント増加。

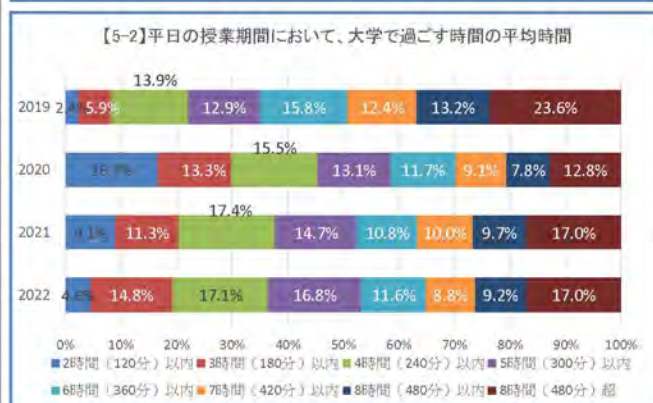
- ・ 「幅広い知識や教養を身につけたい」「クラブ、サークルなどの課外活動に力を入れたい」学生が増加傾向にある。

9

<4-2> 分析② 学生生活の傾向



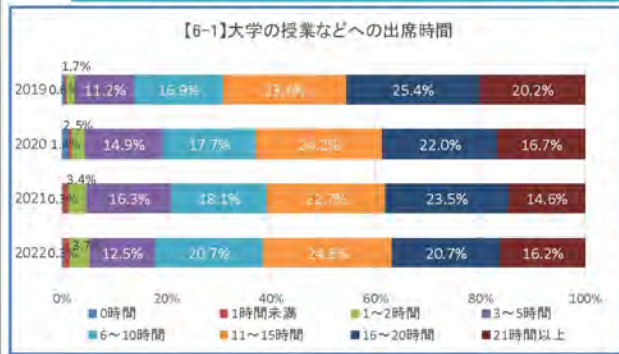
	2022	2021	2020	2019
1日	2.0%	3.9%	14.1%	0.7%
2日	2.5%	6.3%	13.0%	0.9%
3日	8.6%	17.4%	18.9%	4.5%
4日	23.4%	24.6%	18.9%	16.9%
5日	49.9%	32.6%	22.1%	55.3%
6日	7.2%	7.1%	6.3%	12.3%
7日	6.4%	8.0%	6.8%	9.4%



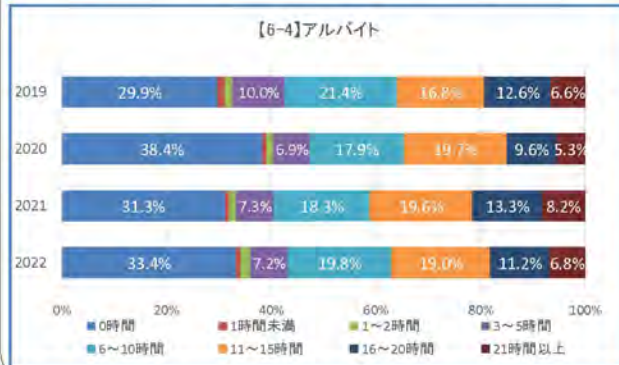
	2022	2021	2020	2019
2時間以内	4.6%	9.1%	16.7%	2.4%
3時間以内	14.8%	11.3%	13.3%	5.9%
4時間以内	17.1%	17.4%	15.5%	13.9%
5時間以内	16.8%	14.7%	13.1%	12.9%
6時間以内	11.6%	10.8%	11.7%	15.8%
7時間以内	8.8%	10.0%	9.1%	12.4%
8時間以内	9.2%	9.7%	7.8%	13.2%
8時間超	17.0%	17.0%	12.8%	23.6%

10

<4-2> 分析② 学生生活の傾向



	2022	2021	2020	2019
0時間	0.3%	0.3%	1.4%	0.6%
1時間未満	1.2%	1.1%	0.5%	0.3%
1~2時間	3.7%	3.4%	2.5%	1.7%
3~5時間	12.5%	16.3%	14.9%	11.2%
6~10時間	20.7%	18.1%	17.7%	16.9%
11~15時間	24.6%	22.7%	24.2%	23.6%
16~20時間	20.7%	23.5%	22.0%	25.4%
21時間以上	16.2%	14.6%	16.7%	20.2%



	2022	2021	2020	2019
0時間	33.4%	31.3%	38.4%	29.9%
1時間未満	0.8%	0.8%	0.7%	1.3%
1~2時間	1.9%	1.3%	1.4%	1.4%
3~5時間	7.2%	7.3%	6.9%	10.0%
6~10時間	19.8%	18.3%	17.9%	21.4%
11~15時間	19.0%	19.6%	19.7%	16.8%
16~20時間	11.2%	13.3%	9.6%	12.6%
21時間以上	6.8%	8.2%	5.3%	6.6%

11

<4-2> 分析② 学生生活の傾向

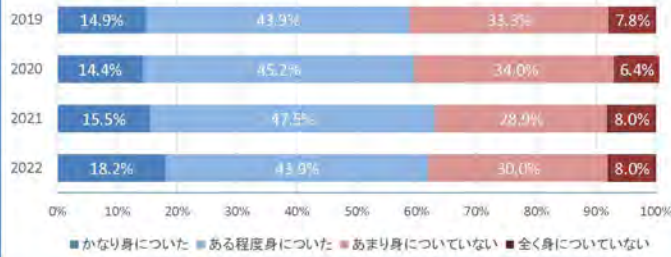
- 「1週間のうち、だいたい何日大学に通ってますか。(5日)」がコロナ禍で減少していたが、**コロナ前(2019年度)並みの約半数(49.9%)**となった。
- 「平日の授業期間において、大学で過ごす時間は、コロナ前(2019年度)から比べると、8時間超の学生が**6.6ポイント減少**し、3時間以内の学生が**8.9ポイント増加**した。
- 「大学の授業などへの出席時間」「アルバイト」については、2019年と比べて大きな変化は見られない。

- 週に大学に通う日数がコロナ(2019年度)並みのとなったが、大学で過ごす時間については、長時間過ごす学生の割合は最も減少し、3時間以下の学生の割合が増加した。

12

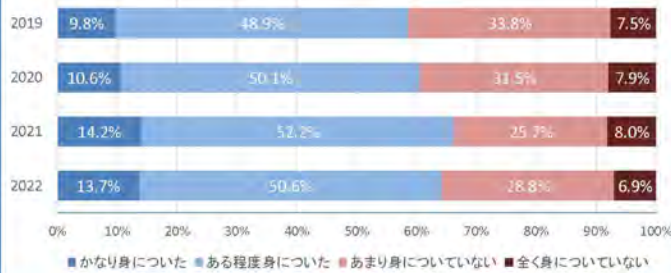
<4-3> 分析③ 学びの充実度・成長実感

【11-2】自ら先頭を立てて行動し、グループをまとめる



	2022	2021	2020	2019
かなり	18.2%	15.5%	14.4%	14.9%
ある程度	43.9%	47.5%	45.2%	43.9%
あまり	30.0%	28.9%	34.0%	33.3%
全く	8.0%	8.0%	6.4%	7.8%

【11-21】筋道を立てて論理的に問題を解決する

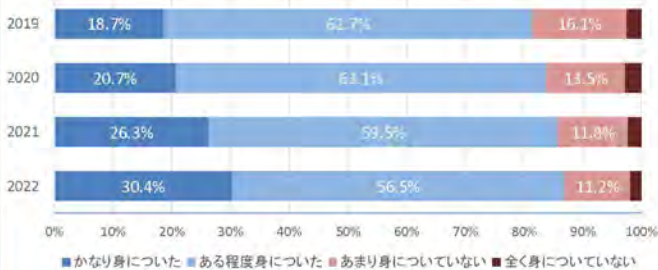


	2022	2021	2020	2019
かなり	13.7%	14.2%	10.6%	9.8%
ある程度	50.6%	52.2%	50.1%	48.9%
あまり	28.8%	25.7%	31.5%	33.8%
全く	6.9%	8.0%	7.9%	7.5%

13

<4-3> 分析③ 学びの充実度・成長実感

【11-25】社会や文化の多様性を理解し、尊重する



	2022	2021	2020	2019
かなり	30.4%	26.3%	20.7%	18.7%
ある程度	56.5%	59.5%	63.1%	62.7%
あまり	11.2%	11.8%	13.5%	16.1%
全く	1.8%	2.3%	2.7%	2.5%

【11-27】社会の規範やルールにしたがって行動する



	2022	2021	2020	2019
かなり	33.3%	31.2%	25.1%	23.4%
ある程度	56.5%	59.8%	63.5%	63.5%
あまり	9.0%	6.5%	10.1%	10.4%
全く	1.2%	2.5%	1.2%	2.7%

14

<4-3> 分析③ 学びの充実度・成長実感

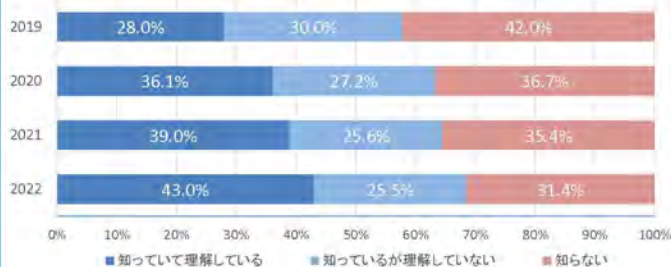
1. 「学びの充実度・成長実感」の中で、身についた(かなり身についた+ある程度身についた)という割合が2019年から2022年にかけて増加した項目は、「社会や文化の多様性を理解し、尊重する」「社会の規範やルールにしたがって行動する」の2項目。その中でも、「社会や文化の多様性を理解し、尊重する」が(かなり身についた)と回答した学生の割合が最も増加(11.7ポイント増)した。

- ・「社会や文化の多様性を理解し、尊重する」「社会の規範やルールにしたがって行動する」2項目の(身についた)割合の増加傾向が目立つ。

15

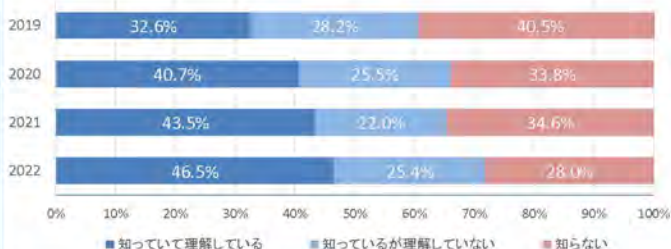
<4-4> 分析④ 建学の精神・3ポリシーの認知度

【14-1】本学の建学の精神についてどのくらい理解していますか。



	2022	2021	2020	2019
理解している	43.0%	39.0%	36.1%	28.0%
理解していない	25.5%	25.6%	27.2%	30.0%
知らない	31.4%	35.4%	36.7%	42.0%

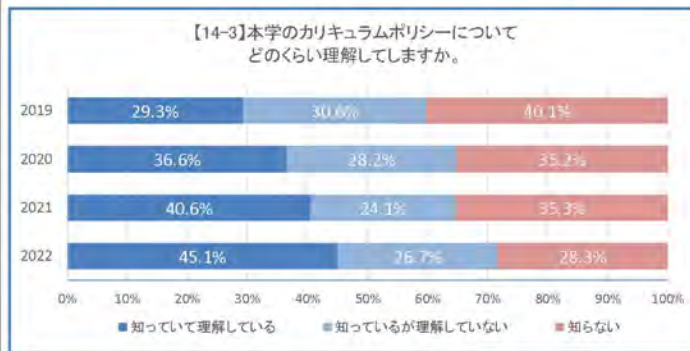
【14-2】本学のアドミッションポリシーについてどのくらい理解していますか。



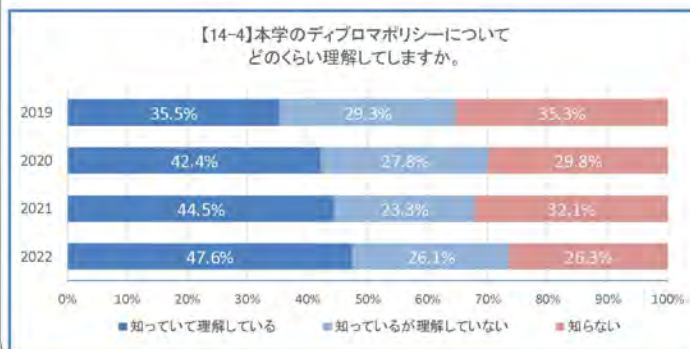
	2022	2021	2020	2019
理解している	46.5%	43.5%	40.7%	32.6%
理解していない	25.4%	22.0%	25.5%	28.2%
知らない	28.0%	34.6%	33.8%	40.5%

16

<4-4> 分析④ 建学の精神・3ポリシーの認知度



	2022	2021	2020	2019
知っている理解している	45.1%	40.6%	36.6%	29.3%
知っているが理解していない	26.7%	24.1%	28.2%	30.6%
知らない	28.3%	35.3%	35.2%	40.1%



	2022	2021	2020	2019
理解している	47.6%	44.5%	42.4%	35.5%
理解していない	26.1%	23.3%	27.8%	29.3%
知らない	26.3%	32.1%	29.8%	35.3%

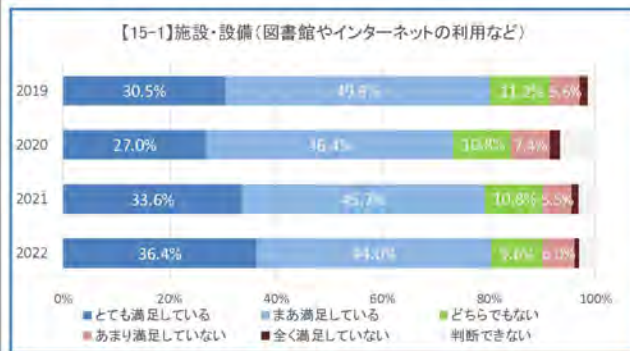
17

<4-4> 分析④ 建学の精神・3ポリシーの認知度

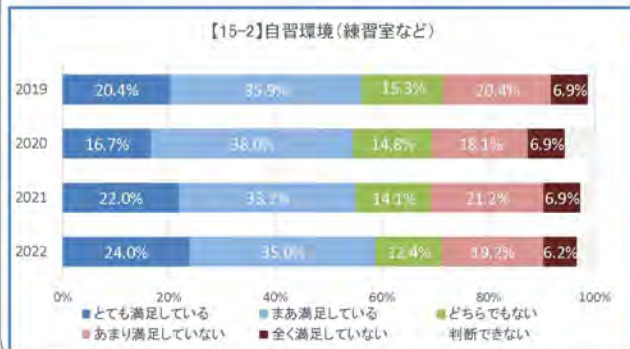
- 「本学の建学の精神についてどのくらい理解していますか。(知っている理解している)」が2019年から2022年にかけて**15ポイント増加**。
 - 「本学のアドミッションポリシーについてどのくらい理解していますか。(知っている理解している)」が2019年から2022年にかけて**13.9ポイント増加**。
 - 「本学のカリキュラムポリシーについてどのくらい理解していますか。(知っている理解している)」が2019年から2022年にかけて**15.9ポイント増加**。
 - 「本学のディプロマポリシーについてどのくらい理解していますか。(知っている理解している)」が2019年から2021年にかけて**11.9ポイント増加**。
- ここ4年間において、建学の精神、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを知っていて理解している学生が**2022年度に最大値**。特に、カリキュラムポリシーについてが**最も増加した**。

18

<4-5> 分析⑤ 満足度



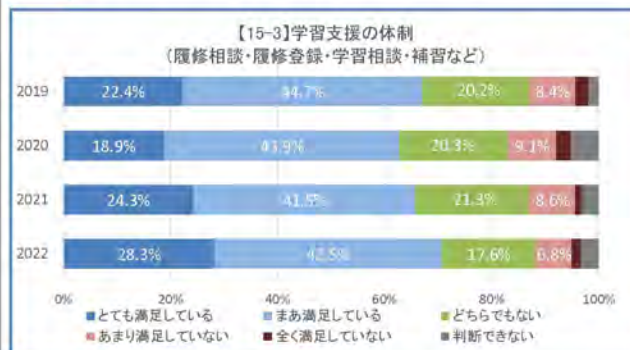
	2022	2021	2020	2019
とても	36.4%	33.6%	27.0%	30.5%
まあ	44.0%	45.7%	46.4%	49.8%
どちらでも	9.6%	10.8%	10.8%	11.2%
あまり	6.0%	5.5%	7.4%	5.6%
全く	0.9%	1.3%	2.0%	1.5%
判断	3.0%	3.1%	6.5%	1.3%



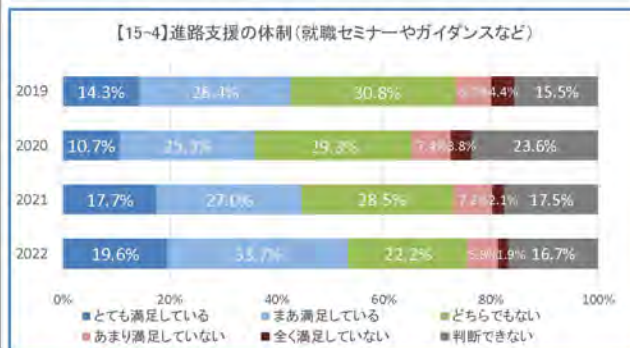
	2022	2021	2020	2019
とても	24.0%	22.0%	16.7%	20.4%
まあ	35.0%	33.2%	38.0%	35.9%
どちらでも	12.4%	14.1%	14.8%	15.3%
あまり	19.2%	21.2%	18.1%	20.4%
全く	6.2%	6.9%	6.9%	6.9%
判断	3.3%	2.6%	5.5%	1.2%

19

<4-5> 分析⑤ 満足度



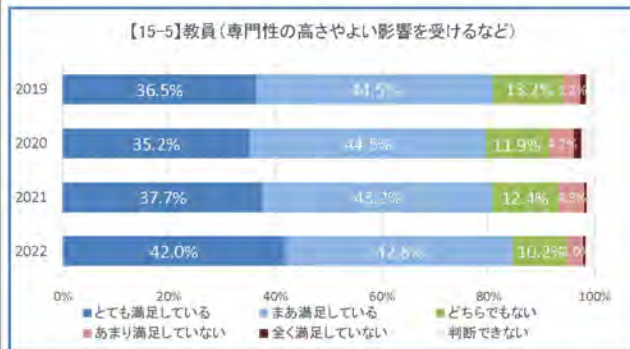
	2022	2021	2020	2019
とても	28.3%	24.3%	18.9%	22.4%
まあ	42.5%	41.5%	43.9%	44.7%
どちらでも	17.6%	21.3%	20.3%	20.2%
あまり	6.8%	8.6%	9.1%	8.4%
全く	1.6%	1.3%	2.7%	2.4%
判断	3.3%	3.0%	5.1%	1.9%



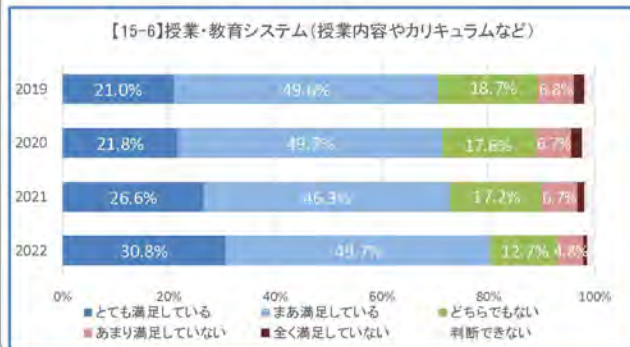
	2022	2021	2020	2019
とても	19.6%	17.7%	10.7%	14.3%
まあ	33.7%	27.0%	25.3%	28.4%
どちらでも	22.2%	28.5%	29.3%	30.8%
あまり	5.8%	7.2%	7.4%	6.7%
全く	1.9%	2.1%	3.8%	4.4%
判断	16.7%	17.5%	23.6%	15.5%

20

<4-5> 分析⑤ 満足度



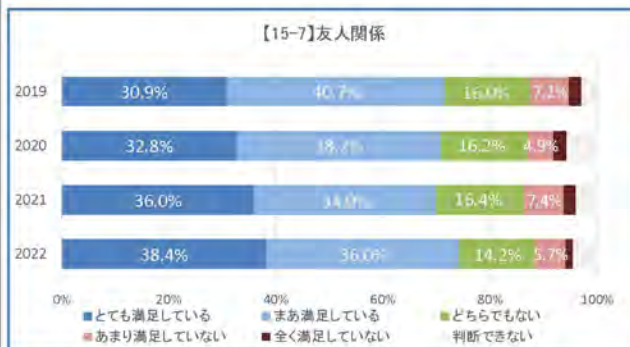
	2022	2021	2020	2019
とても	42.0%	37.7%	35.2%	36.5%
まあ	42.8%	43.2%	44.5%	44.5%
どちらでも	10.2%	12.4%	11.9%	13.2%
あまり	3.0%	4.9%	4.7%	3.2%
全く	0.5%	0.4%	1.4%	1.1%
判断	1.6%	1.5%	2.4%	1.5%



	2022	2021	2020	2019
とても	30.8%	26.6%	21.8%	21.0%
まあ	49.7%	46.3%	49.7%	49.6%
どちらでも	12.7%	17.2%	17.6%	18.7%
あまり	4.8%	6.7%	6.7%	6.8%
全く	0.7%	1.4%	2.1%	1.9%
判断	1.4%	1.9%	2.3%	1.9%

21

<4-5> 分析⑤ 満足度



	2022	2021	2020	2019
とても	38.4%	36.0%	32.8%	30.9%
まあ	36.0%	34.0%	38.2%	40.7%
どちらでも	14.2%	16.4%	16.2%	16.0%
あまり	5.7%	7.4%	4.9%	7.2%
全く	1.4%	2.2%	2.4%	2.3%
判断	4.4%	3.9%	5.6%	2.8%



	2022	2021	2020	2019
とても	35.0%	31.4%	26.7%	27.8%
まあ	49.7%	49.0%	51.2%	49.1%
どちらでも	9.6%	12.8%	13.3%	13.1%
あまり	3.4%	4.7%	4.6%	6.0%
全く	0.9%	0.9%	1.4%	1.8%
判断	1.4%	1.2%	2.8%	2.2%

22

<4-5> 分析⑤ 満足度

1. 「施設・設備(図書館やインターネットの利用など)」「自習環境(練習室など)」「学習支援の体制(履修相談・履修登録・学習相談・補習など)」「進路支援の体制(就職セミナーやガイダンスなど)」「教員(専門性の高さやよい影響を受けるなど)」「大学生生活を総合的に判断して」の7項目における(とても満足している)が、全て増加している。
 2. 特に、「進路支援の体制(就職セミナーやガイダンスなど)」は、満足している(とても満足して+まあ満足している)が最も増加(+10.6ポイント)し、「授業・教育システム(カリキュラムなど)」も9.9ポイント増加した。
- ・ 満足度のすべての項目における(とても満足している)が増加しており、コロナ前(2019年)を上回っている。

23

<5> まとめ

- ①「幅広い知識や教養を身につけたい」「クラブ、サークルなどの課外活動に力を入れたい」学生が増加傾向にある。
- ②大学で過ごす時間については、コロナ前に比べると長時間過ごす学生の割合は最も減少し、3時間以下の学生の割合が増加した。
- ③「社会や文化の多様性を理解し、尊重する」「社会の規範やルールにしたがって行動する」2項目の(身についた)割合の増加傾向が目立つ。
- ④建学の精神、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを理解している割合が増加傾向。
- ⑤満足度のすべての項目が高くなっており、コロナ前(2019年)を上回っている。

24

<6>全国との比較 10ポイント以上の差が生じた項目

〔ベネッセ教育総合研究所、2023〕第4回大学生の学習・生活実態調査による全国の値と比較を行った

①入学納得度がより高い 【問3】「とても満足している」62.4%（全国比+34.0pt）

【問3】本学に進学した時の気持ちとして、もっとも近いものを1つを選択してください。



②教育内容に対する期待がとても高い とてもあてはまる(%)

- 【問4-1】「専門分野について深く学びたい」81.6%（全国比+41.8pt）
- 【問4-2】「専門分野に限らず幅広い知識や教養を身につけたい」60.4%（全国比+29.8pt）
- 【問4-4】「友人をつくりよい人間関係を広げたい」60.1%（全国比+20.9pt）
- 【問4-6】「将来の仕事に役立つような仕事を身につけたい」84.4%（全国比+45.0pt）
- 【問4-7】「自分の将来の方向性を見つけたい」74.4%（全国比+31.7pt）

③難しくても、好きなことを探求したい とてもあてはまる(%)

- 【問9-1】「単位をとるのが難しくても自分の興味のある授業が良い」71.9%（全国比+35.2pt）
- 【問9-6】「基礎・基本は少ないが、応用・発展的内容が中心の授業が良い」34.5%（全国比+13.4pt）
- 【問9-13】「大学では答えのない問題について
自分なりの正解を探求する学びが必要だ」77.9%（全国比+12.6pt）

25

<6>全国との比較 10ポイント以上の差が生じた項目

④授業での取り組み姿勢が積極的 とてもあてはまる+まああてはまる(%)

- 【問10-1、6】「予習、復習する」予習62.4%（全国比+21.7pt）復習75.1%（全国比+19.6pt）
- 【問10-3】「わからないことは質問する」81.0%（全国比+34.6pt）
- 【問10-5】「グループワークやディスカッションは積極的に参加する」75.8%（全国比+45.9pt）
- 【問10-8】「授業で興味をもったことについて自主的に勉強する」90.1%（全国比+24.2pt）
- 【問10-9】「授業とは関係なく、興味をもったことについて自主的に勉強する」91.0%（全国比+25.1pt）

⑤科学的な学習態度に対する肯定率が全体的に高い とてもあてはまる+まああてはまる(%)

- 【問11-1】「新しいことを勉強する時、自分が知っていることとどんな関係があるかを知ろうとする」88.9%（全国比+18.5pt）
- 【問11-2】「何がわかっていて、何がわかっていないかをはっきりさせようとする」90.4%（全国比+15.2pt）
- 【問11-4】「先生から読むようにいわれた資料は、よく読んでその意味を理解するようにしている」81.0%（全国比+22.7pt）
- 【問11-5】「間違えたところは、なぜ間違えたかを考える」90.6%（全国比+20.6pt）

⑥学部生、院生ともに3ポリシーの理解度が高い 知っていて理解している(%)

- 【問14-1】「建学の精神」43.0%（全国比+19.3pt）
- 【問14-2】「アドミッションポリシー」46.5%（全国比+23.5pt）
- 【問14-3】「カリキュラムポリシー」45.1%（全国比+20.1pt）
- 【問14-4】「ディプロマポリシー」47.6%（全国比+30pt）

⑦大学についての満足度 とても満足している+まあ満足している(%)

- 【問15-1】「施設・設備（図書館やインターネットの利用など）」80.5%（全国比+17.3pt）
- 【問15-3】「学習支援の体制（履修相談・履修登録・学習相談・補習など）」70.7%（全国比+33.3pt）
- 【問15-5】「教員（専門性の高さやよい影響を受けるなど）」84.8%（全国比+32.3pt）
- 【問15-6】「授業・教育システム（授業内容やカリキュラムなど）」80.5%（全国比+32.4pt）
- 【問15-8】「大学生活を総合的に判断して」84.7%（全国比+29.1pt）

26

資料3：授業に関するアンケート結果

2023-06-23 版

2022 年度 前期 授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部-講義

学部-レッスン

大学院-レッスン

大学院-講義

洗足学園音楽大学・大学院

2023-06-23 版

2022年度前期（遠隔授業含む）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

集計区分

履修者数	9460
回答数	4400
回答率	46.51%

あなた自身について

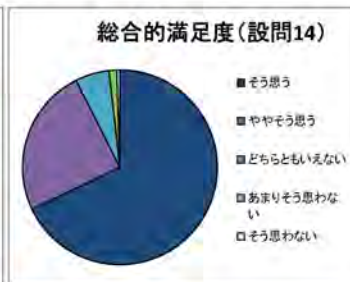
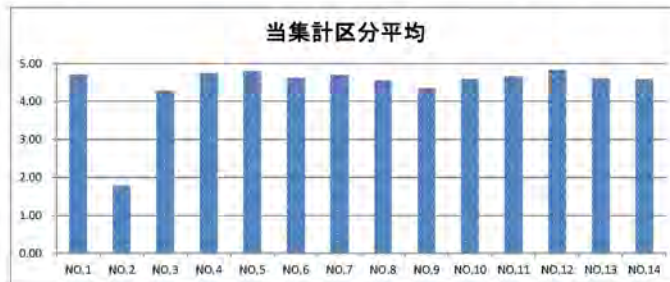
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.68	半期1-13回 通年20-29回 75.32%	半期2-10回 通年25-29回 19.75%	半期7回 通年18-14回 3.07%	半期4回 通年13-8回 0.84%	半期0回以下 通年7回以下 1.02%	4400	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.72	4時間以上 4.70%	3-4時間 2.77%	2-3時間 8.93%	1-2時間 27.20%	1時間未満 56.39%	4400	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.42	そう思う 57.84%	やや思う 30.50%	どちらとも いえない 8.77%	あまりそう 思わない 2.00%	そう思わない 0.89%	4400	0

授業科目について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.73	79.50%	15.15%	4.10%	0.91%	0.34%	4078	322
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.73	80.34%	14.74%	3.32%	0.91%	0.69%	4064	336
6	教員の声や話し方は明確でわかりやすかったですか	4.60	74.72%	15.54%	5.73%	2.55%	1.46%	4047	353
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.64	76.07%	15.44%	5.49%	2.05%	0.94%	4041	359
8	授業に集中できるような配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.61	73.68%	16.18%	7.88%	1.72%	0.55%	4012	388
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.55	73.15%	14.73%	8.00%	2.39%	1.72%	4011	389
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.59	73.18%	17.77%	5.55%	1.98%	1.51%	4035	365
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.80	85.98%	8.62%	3.27%	0.80%	0.32%	4001	399
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.89	91.52%	6.54%	1.32%	0.37%	0.25%	4023	377
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.55	72.13%	17.35%	5.64%	3.26%	1.82%	4022	378

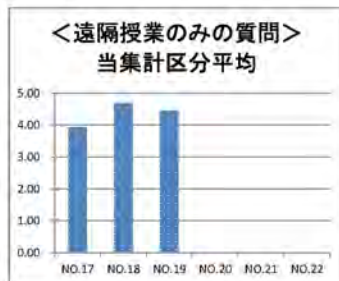
授業の評価

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.58	72.36%	18.02%	5.95%	2.09%	1.57%	4400	0



授業科目について、遠隔授業のみの設問

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.97	44.66%	12.38%	38.25%	4.71%	0.00%	2698	1702
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.27	37.39%	56.02%	3.08%	3.50%	0.00%	714	3686
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.22	33.19%	59.08%	3.86%	3.86%	0.00%	699	3701



2023-06-23 版

2022年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

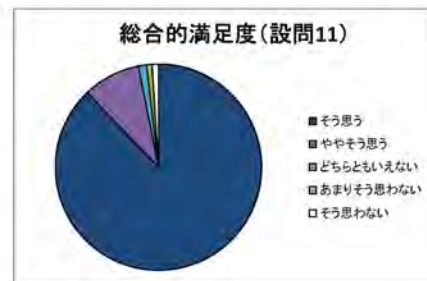
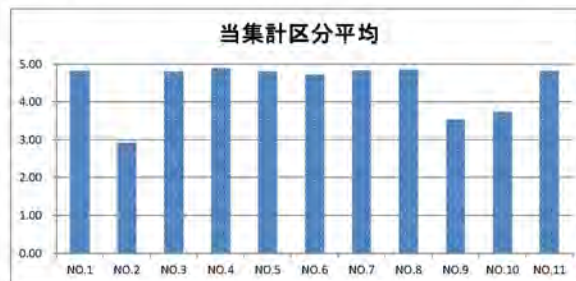
集計区分 学部-レッスン全体

有効回答数	1772
回答数	701
回答率	39.56%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			半期5-13回 通年30-29回	半期2-10回 通年25-20回	半期7回 通年18-14回	半期4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.81	84.02%	13.84%	1.57%	0.43%	0.14%	701	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.92	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	701	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.80	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	701	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.89	92.02%	5.67%	1.84%	0.15%	0.31%	652	49
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.80	87.06%	7.86%	4.01%	0.62%	0.46%	649	52
6	レッスンを進じて、演奏技術は上達しましたか	4.72	80.68%	13.91%	3.40%	0.62%	1.39%	647	54
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.83	87.54%	9.23%	2.00%	0.92%	0.31%	650	51
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.85	89.03%	8.50%	1.39%	0.46%	0.62%	647	54
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.53	37.48%	12.75%	25.51%	13.69%	10.58%	643	58
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.74	47.30%	14.53%	15.15%	10.51%	12.52%	647	54

授業の時間		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.82	87.87%	8.99%	1.28%	0.86%	1.00%	701	0



2023-06-23 版

2022年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

集計区分 **大学院-レッスン**

質問数	11
回答数	6
回答率	54.55%

あなた自身について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.83	前期5-13回 通年30-26回 83.33%	前期2-10回 通年25-20回 16.67%	前期7回 通年18-14回 0.00%	前期4回 通年13-8回 0.00%	前期3回以下 通年7回以下 0.00%	6	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.50	4時間以上 33.33%	3-4時間 33.33%	2-3時間 0.00%	1-2時間 16.67%	1時間未満 16.67%	6	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	5.00	そう思う 100.00%	ややそう思う 0.00%	どちらとも いえない 0.00%	あまりそう 思わない 0.00%	そう思わない 0.00%	6	0

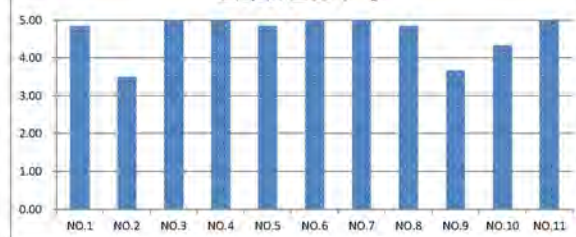
授業科目について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	5.00	そう思う 100.00%	ややそう思う 0.00%	どちらとも いえない 0.00%	あまりそう 思わない 0.00%	そう思わない 0.00%	6	0
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.83	83.33%	16.67%	0.00%	0.00%	0.00%	6	0
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	5.00	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	6	0
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	5.00	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	6	0
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.83	83.33%	16.67%	0.00%	0.00%	0.00%	6	0
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.67	50.00%	0.00%	16.67%	33.33%	0.00%	6	0
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	4.33	66.67%	0.00%	33.33%	0.00%	0.00%	6	0

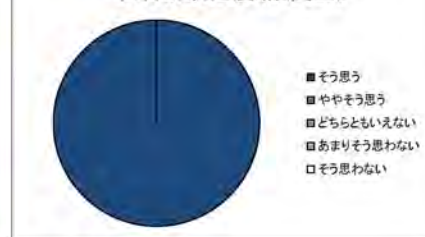
授業の時間

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	5.00	そう思う 100.00%	ややそう思う 0.00%	どちらとも いえない 0.00%	あまりそう 思わない 0.00%	そう思わない 0.00%	6	0

当集計区分平均



総合的満足度(設問11)



2023-06-23 版

2022 年度 後期
授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部-講義

学部-レッスン

大学院-レッスン

大学院-講義

洗足学園音楽大学・大学院

2023-06-23 版

2022年度後期（遠隔授業含む）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

集計区分

履修者数	20922
回答数	6488
回答率	31.01%

あなた自身について

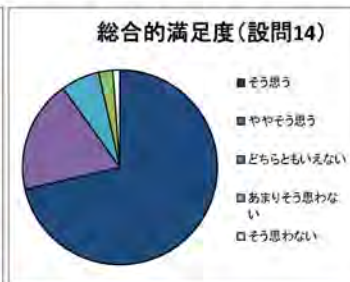
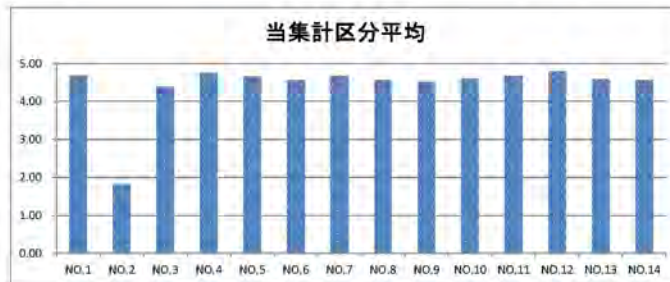
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.65	半期5-13回 通年20-29回 74.01%	半期2-10回 通年25-29回 20.76%	半期7回 通年18-14回 2.59%	半期4回 通年13-8回 1.25%	半期4回以下 通年7回以下 1.39%	6488	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.15	4時間以上 10.06%	3-4時間 5.75%	2-3時間 13.58%	1-2時間 29.84%	1時間未満 40.77%	6488	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.57	そう思う 68.34%	やや思う 22.77%	どちらとも 思わない 6.75%	あまりそう 思わない 1.57%	そう思わない 0.57%	6488	0

授業科目について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.75	81.13%	13.95%	3.71%	0.74%	0.47%	5521	967
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.78	83.53%	12.57%	2.59%	0.97%	0.35%	5489	999
6	教員の声や話し方は明確でわかりやすかったですか	4.71	79.85%	14.19%	3.64%	1.55%	0.77%	5474	1014
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.69	78.84%	13.92%	5.35%	0.98%	0.90%	5417	1071
8	授業に集中できるような配慮をしていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.68	77.76%	14.98%	5.53%	1.03%	0.70%	5422	1066
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.65	77.18%	14.02%	6.48%	1.44%	0.89%	5420	1068
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.69	78.76%	14.84%	4.13%	1.27%	1.01%	5453	1035
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.77	83.65%	11.67%	3.24%	0.94%	0.50%	5426	1062
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.81	86.25%	10.40%	2.26%	0.72%	0.37%	5440	1048
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.67	77.84%	15.22%	4.43%	1.51%	1.01%	5446	1042

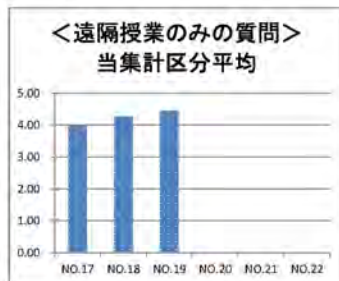
授業の評価

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.68	77.93%	15.29%	4.41%	1.43%	0.94%	6488	0



授業科目について-遠隔授業のみの設問

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	4.05	47.37%	14.52%	33.78%	4.34%	0.00%	3437	3051
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.32	43.09%	49.30%	3.80%	3.80%	0.00%	789	5699
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.30	40.26%	53.29%	2.84%	3.61%	0.00%	775	5713



2023-06-23 版

2022年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

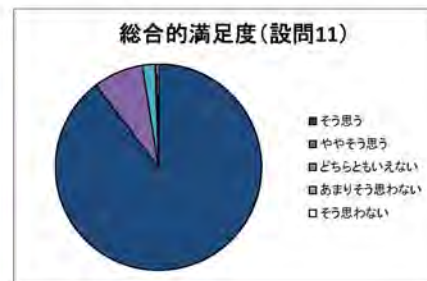
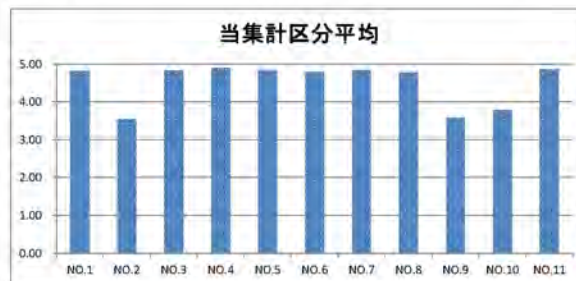
集計区分 学部-レッスン全体

有効回答数	4324
回答数	1194
回答率	27.61%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			半期5-13回 通年20-26回	半期2-10回 通年25-29回	半期7回 通年18-14回	半期4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.82	85.09%	12.81%	1.09%	0.67%	0.34%	1194	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.54	4時間以上 38.78%	3-4時間 13.82%	2-3時間 17.50%	1-2時間 22.78%	1時間未満 7.12%	1194	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.83	そう思う 85.34%	ややそう思う 12.14%	どちらとも いえない 2.26%	あまりそう 思わない 0.25%	そう思わない 0.00%	1194	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.90	そう思う 92.52%	ややそう思う 5.85%	どちらとも いえない 1.15%	あまりそう 思わない 0.48%	そう思わない 0.00%	1043	151
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.84	87.73%	9.57%	1.64%	0.68%	0.39%	1035	159
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.79	82.83%	13.87%	2.52%	0.58%	0.19%	1031	163
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.84	87.36%	10.14%	1.93%	0.48%	0.10%	1036	158
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.78	83.66%	12.38%	2.13%	1.64%	0.19%	1034	160
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.58	39.36%	14.65%	22.07%	12.99%	10.94%	1024	170
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.78	49.85%	12.49%	15.80%	9.27%	12.59%	1025	169

授業の時間		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.86	89.61%	7.87%	2.01%	0.17%	0.34%	1194	0



2023-06-23 版

2022年度後期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

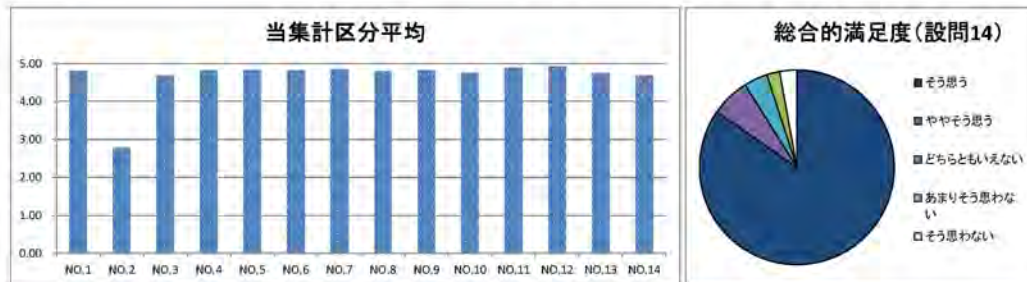
集計区分 大学院-講義

有効回答数	744
回答数	280
回答率	37.63%

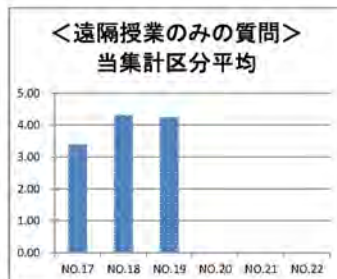
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			半期5-13回 通年20-29回	半期2-10回 通年25-29回	半期7回 通年18-14回	半期4回 通年13-8回	半期1回以下 通年7回以下		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.81	83.21%	15.00%	1.07%	0.71%	0.00%	280	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.79	4時間以上 21.07%	3-4時間 9.29%	2-3時間 17.86%	1-2時間 30.71%	1時間未満 21.07%	280	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.68	そう思う 79.29%	やや思う 12.86%	どちらとも いえない 5.36%	あまりそう 思わない 1.43%	そう思わない 1.07%	280	0

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			「そう思う」	「やや思う」	「どちらとも いえない」	「あまりそう 思わない」	「そう思わない」		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.82	87.35%	9.09%	2.37%	0.40%	0.79%	253	27
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.83	89.02%	7.06%	2.35%	1.18%	0.39%	255	25
6	教員の声や話し方は明確でわかりやすかったですか	4.82	88.63%	7.06%	2.35%	1.57%	0.39%	255	25
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.85	89.02%	8.24%	2.35%	0.00%	0.39%	255	25
8	授業に集中できるよう配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.79	86.61%	8.66%	2.36%	1.57%	0.79%	254	26
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.82	88.54%	7.51%	1.56%	2.37%	0.00%	253	27
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.76	85.43%	8.27%	3.54%	1.97%	0.79%	254	26
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.89	92.09%	5.93%	0.79%	1.19%	0.00%	253	27
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.93	94.09%	5.12%	0.39%	0.39%	0.00%	254	26
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.75	84.58%	9.88%	2.77%	1.19%	1.58%	253	27

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			「そう思う」	「やや思う」	「どちらとも いえない」	「あまりそう 思わない」	「そう思わない」		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.68	84.64%	6.43%	3.93%	2.14%	2.86%	280	0



NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			「そう思う」	「やや思う」	「どちらとも いえない」	「あまりそう 思わない」	「そう思わない」		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.40	13.04%	15.46%	69.57%	1.93%	0.00%	207	73
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.30	54.55%	27.27%	12.12%	6.06%	0.00%	33	247
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.24	50.00%	32.35%	8.82%	8.82%	0.00%	34	246



2023-06-23 版

2022年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

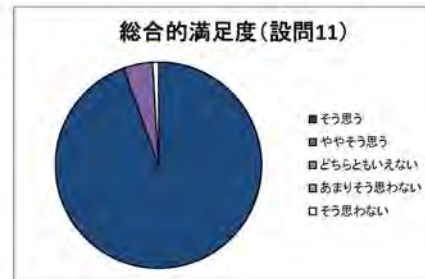
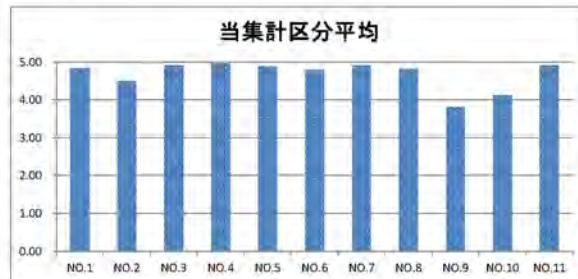
集計区分 大学院-レッスン全体

回答数	359
有効回答	109
回答率	30.36%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			半期5-13回 通年20-26回	半期2-10回 通年25-29回	半期7回 通年18-14回	半期4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.83	89.91%	6.42%	1.83%	0.92%	0.92%	109	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	4.50	75.23%	6.42%	12.84%	4.59%	0.92%	109	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.91	92.66%	5.50%	1.83%	0.00%	0.00%	109	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.96	96.04%	0.96%	0.00%	0.98%	0.00%	102	7
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.88	90.20%	8.82%	0.00%	0.98%	0.00%	102	7
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.79	88.24%	8.82%	0.00%	0.00%	2.94%	102	7
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.91	91.18%	8.82%	0.00%	0.00%	0.00%	102	7
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.82	86.27%	11.76%	0.98%	0.00%	0.98%	102	7
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.81	54.90%	5.88%	13.73%	16.67%	8.82%	102	7
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	4.13	64.29%	6.12%	15.31%	7.14%	7.14%	98	11

授業の時間		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.92	94.50%	4.59%	0.00%	0.00%	0.92%	109	0



資料4：卒業時満足度調査結果

2022年度 卒業時満足度調査

洗足学園音楽大学

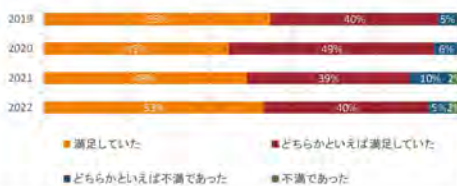
調査概要

調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2023年3月卒業予定の音楽学部4年生（全コース）
調査時期	2023年2月2日（木）～3月1日（水）
所要時間	10分弱
質問数	21問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って

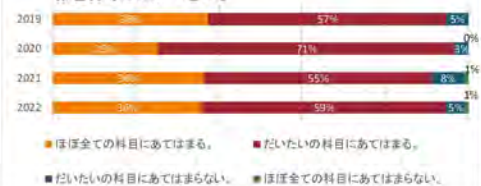
回答率	在籍者数	回答者数	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
作曲	CO	5	20%	67%	100%	25%
音楽・音響デザイン	SC	58	59%	32%	37%	38%
ピアノ	PF	34	50%	48%	20%	49%
管楽器	WI	105	57%	32%	29%	26%
弦楽器	SI	10	60%	62%	29%	60%
打楽器	PI	33	55%	40%	44%	41%
電子オルガン	EO	6	67%	50%	67%	50%
ジャズ	JZ	20	65%	38%	59%	26%
現代邦楽	GH	1	0%	0%	-	100%
ロック&ポップス	RP	37	43%	39%	41%	21%
声楽	VO	23	35%	24%	47%	36%
ミュージカル	MS	79	46%	23%	54%	24%
バレエ	BL	15	87%	37%	41%	39%
ダンス	DC	16	75%	22%	-	-
声優アニメソング	AS	32	63%	27%	37%	16%
音楽教育	ME	12	50%	44%	43%	44%
ワールドミュージック	WM	2	50%	-	-	-
コース名未回答	未回答	-	-	-	-	-
合計		488	58%	36%	39%	32%

【教員や授業についての満足度】

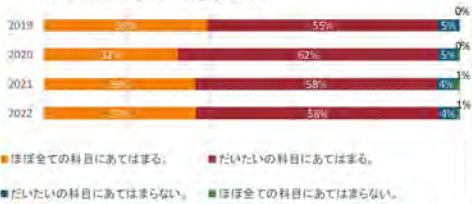
【2-1】教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。



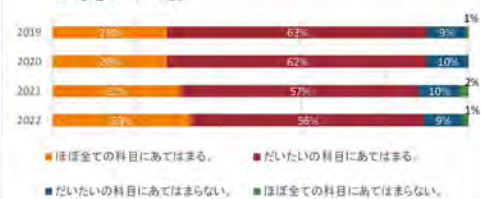
【2-2】シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての確かな情報を得ることができた。



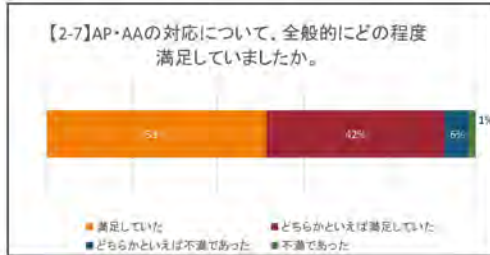
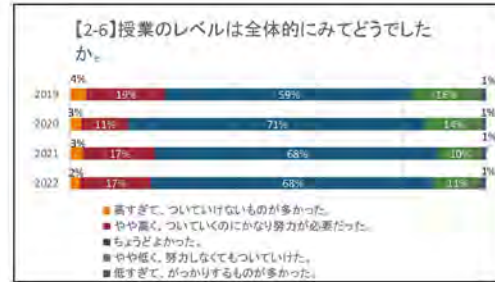
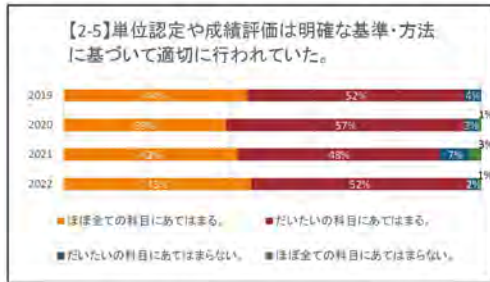
【2-3】それぞれの授業科目が何を目指したものが、到達目標が明確だった。



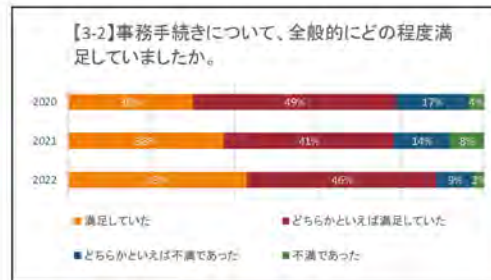
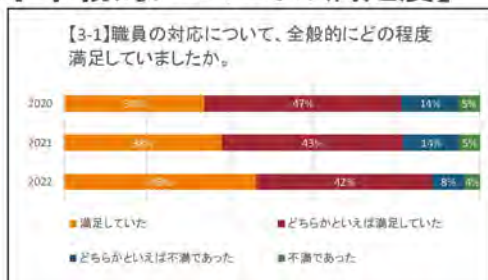
【2-4】授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。



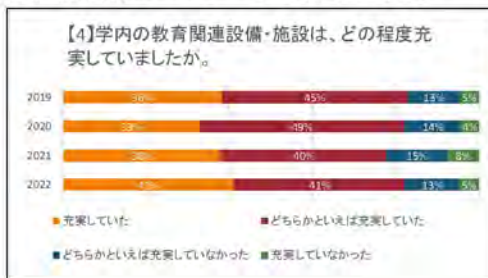
【教員や授業についての満足度】



【大学事務局についての満足度】

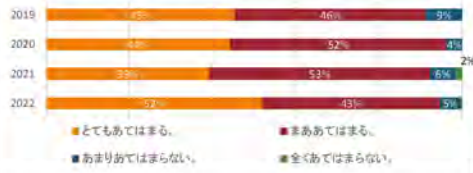


【施設・設備についての満足度】

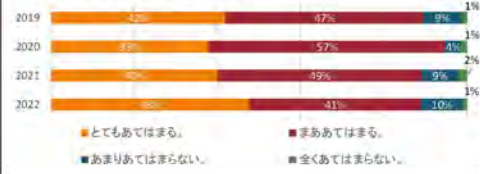


【4年間の学修成果】

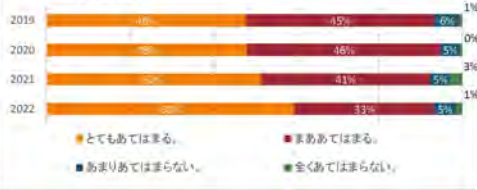
【5-1】自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができるようになった(専門性・専門実技)。



【5-2】社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができるようになった(多様性の尊重)。

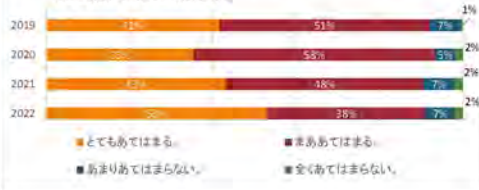


【5-3】自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった(協働する力)。

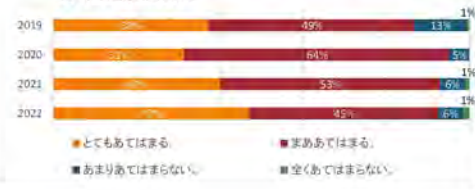


【4年間の学修成果】

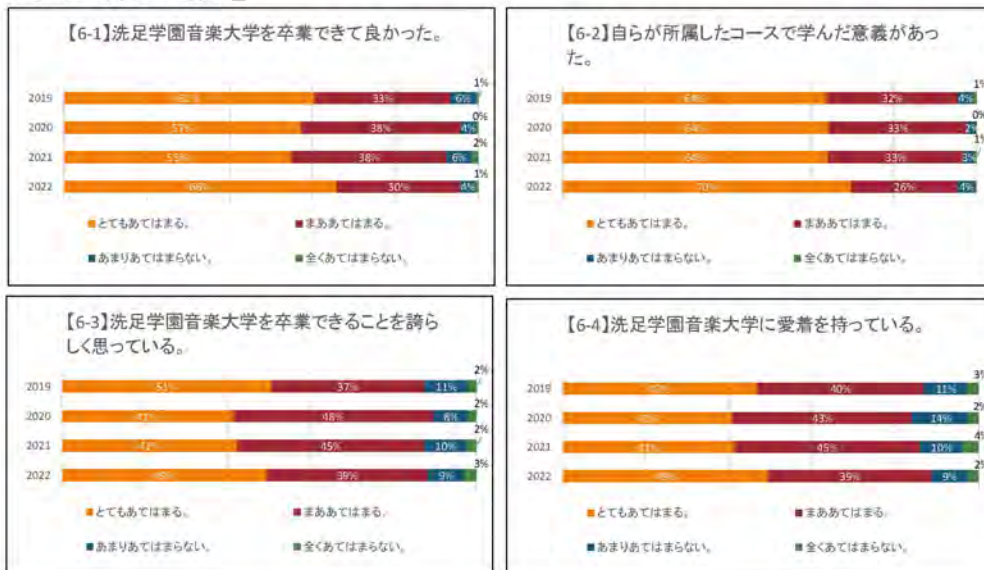
【5-4】自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた(社会貢献・実践的態度)。



【5-5】論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった(論理的思考力・問題解決力)。

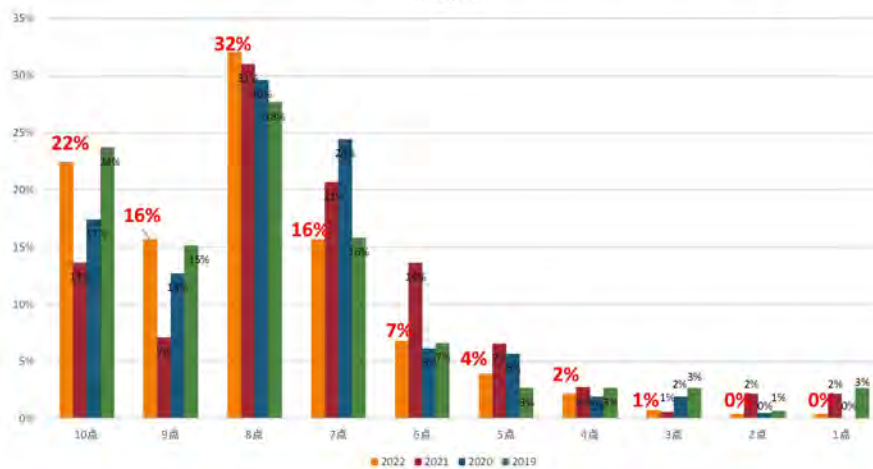


【大学生生活全般】



【大学生生活全般】

【6-5】本学における、あなたの4年間の学生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。



資料5：修了時満足度調査結果

2022年度 修了時満足度調査

洗足学園音楽大学大学院

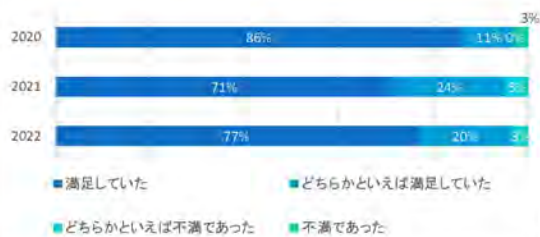
調査概要

調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2023年3月修了予定の大学院2年生（全コース）
調査時期	2023年2月2日(木)～3月1日(水)
所要時間	10分弱
質問数	21問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って

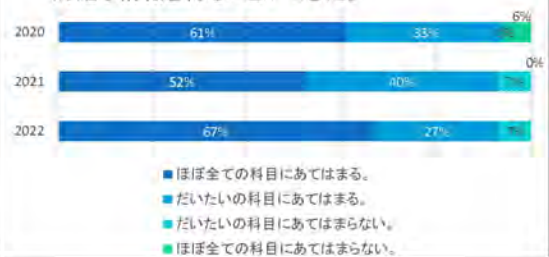
回答率		在籍者数	回答者数	2022年度	2021年度	2020年度
作曲	CO	4	2	50%	0%	100%
音楽・音響デザイン	SC	24	18	75%	48%	62%
ピアノ	PF	8	7	88%	33%	25%
管楽器	WI	7	3	43%	71%	50%
弦楽器	SI	5	3	60%	29%	67%
打楽器	PI	6	3	50%	-	-
電子オルガン	EO	9	8	89%	50%	100%
和楽器	WA	2	0	0%	0%	100%
声楽	VO	8	3	38%	50%	20%
音楽教育学	MP	7	5	71%	100%	100%
コース名未回答	-	-	8	-	-	-
合計		80	60	75%	49%	55%

【教員や授業についての満足度】

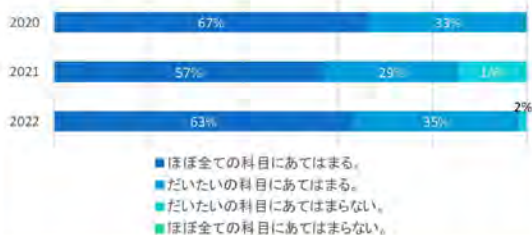
【2-1】教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。



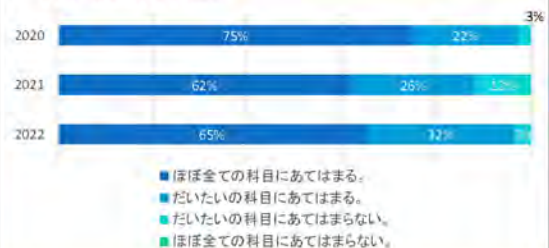
【2-2】シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについて的確な情報を得ることができた。



【2-3】それぞれの授業科目が何を指したものか、到達目標が明確だった。



【2-4】授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。

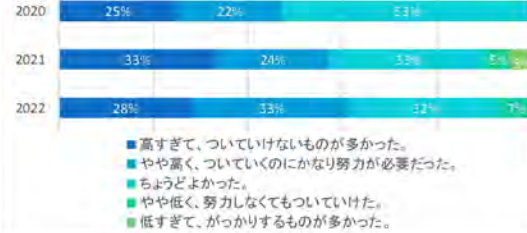


【教員や授業についての満足度】

【2-5】単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。

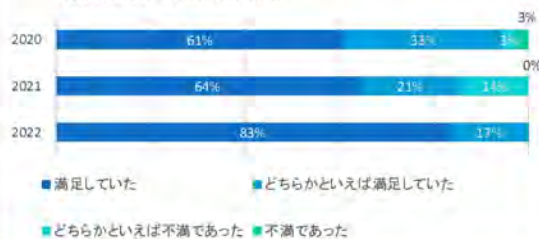


【2-6】授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。

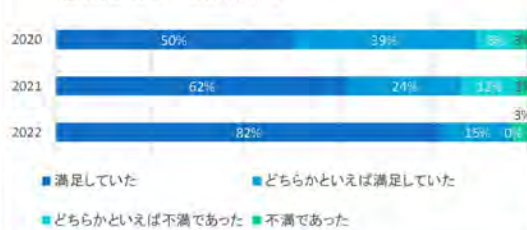


【大学事務局についての満足度】

【3-1】職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。



【3-2】事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。



【施設・設備についての満足度】

【4】学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。

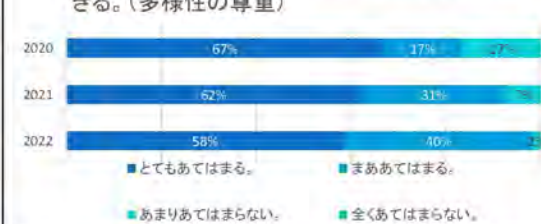


【2年間の学修成果】

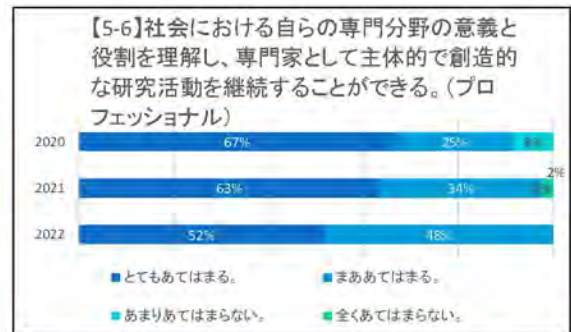
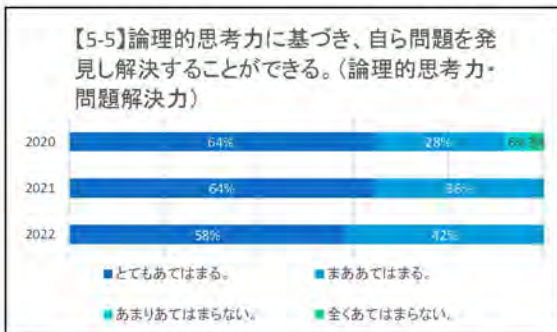
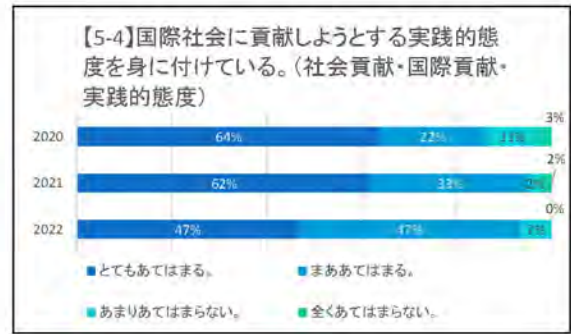
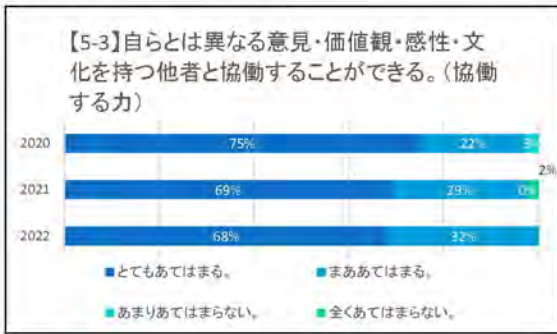
【5-1】自らの専門分野の高度で専門的な知識・技能あるいは研究能力を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)



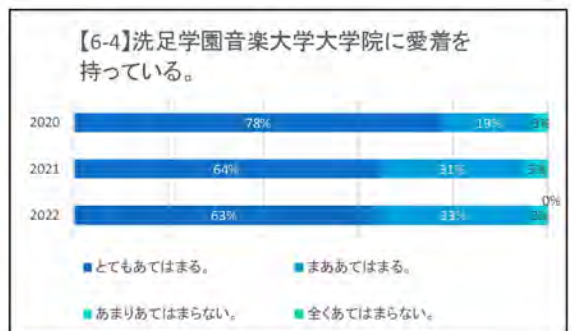
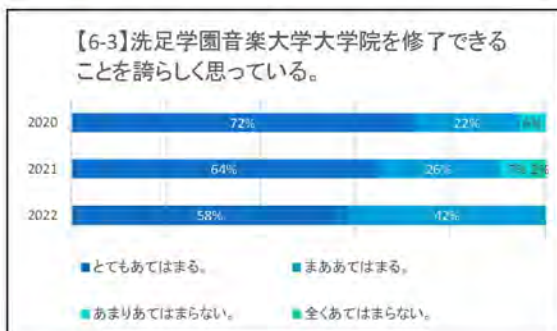
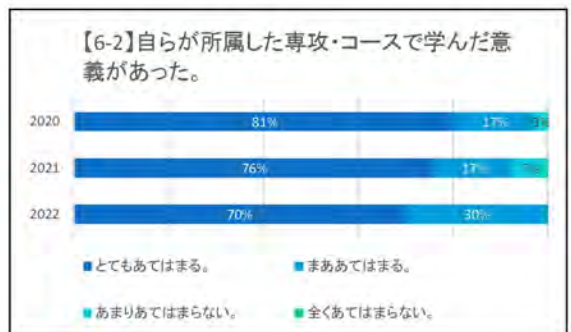
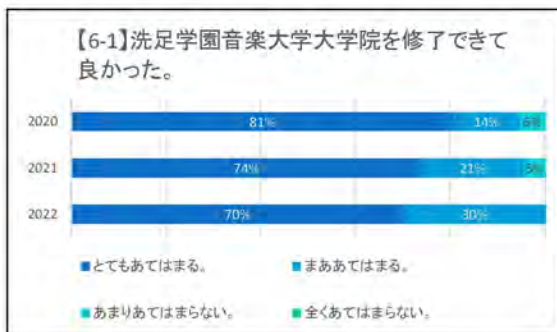
【5-2】社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)



【2年間の学修成果】



【大学生生活全般】



【大学生活全般】

【6-5】本学における、あなたの2年間の大学院生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。

